

VALUX 対応版

SMBC

マルチバンク 資金移動

操作マニュアル

第17版 2026年 3月



SMBC

三井住友銀行

CONTENTS

目次

第1部 導入編

序章 はじめに

ご利用いただくまでの流れ	2
--------------	---

第1章 システムの概要

システム構成	4
--------	---

第2章 セットアップ

セットアップ方法	8
作成されるフォルダの階層	12

第3章 導入設定

導入処理	14
通信環境設定	20
VALUX 電子証明書発行・更新	22

第4章 運用設定

運用処理	28
運用設定 / 接続先銀行登録	30
口座登録	32
グループ登録	34
パターン登録	35

第2部 操作要領編

序章 はじめに

日常処理のメニューについて	2
---------------	---

第1章 資金移動

資金集中 / 資金配分 / 残高調整	4
資金移動結果照会	12
資金移動予約取消	16
資金移動結果サマリー表	20

第2章 照会 / 振込振替

残高照会 / 振込入金照会 / 入出金明細照会	22
振込振替（個別依頼）	26
振込振替（複数依頼）	30

第3章 ファイル入出力

資金移動データ出力	36
残高照会データ出力	37
振込入金照会 / 入出金明細照会データ出力	38
振込振替データ出力	40
資金移動データ取り込み	41
汎用出力形式登録	42

第4章 バックアップと復元

バックアップと復元	44
-----------	----

第5章 その他

銀行支店情報のダウンロード	48
タイマー設定	50

1. 当システムは、株式会社三井住友銀行の SMBC マルチバンク資金移動（VALUX 対応版）をご契約のお客さまのみご利用いただけます。第三者への譲渡・移転、および複製・改変は禁止されています。
2. 本書の記述内容は、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
3. 当システムの運用に際しては、機器やソフトの使用方法など、本書の説明記述を十分ご理解いただいたうえでご利用ください。
4. 本書の一部または全部の無断複製、転載は法律により禁止されています。
5. Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
6. ANSER、ANSER-SPC および VALUX は、株式会社 NTT データの登録商標です。
7. その他、記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。



第1部 導入編

はじめに、当システムをご利用いただくために必要な手順について説明します。

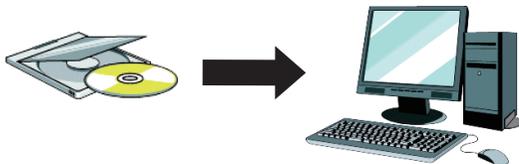
第1章. システムの概要

SMBC マルチバンク資金移動 (VALUX 対応版) をご利用いただくための環境について記載しています。

▶ システム構成の確認
「導入編-4 システム構成」

第2章. セットアップ

当システムをコンピュータにセットアップします。
事前にセットアップするコンピュータが、必要なシステム環境を満たしているか確認してください。
必要なシステム環境を満たしていないコンピュータに、当システムをセットアップしますと、正常に動作しない場合があります。



▶ セットアップ
「導入編-8 セットアップ方法」

第 3 章. 導入設定

当システムのセットアップが完了しましたら、当システムを起動して、ご利用いただくために、必要な通信環境などの事前設定を行います。

※ VALUX サービスのご利用について

(株)NTT データと VALUX の契約が必要です。
VALUX 契約後、(株)NTT データより証明書を発行した旨の通知書が届きますので、通知書をお手元にご用意いただいた上で証明書の新規取得を実施してください。
なお、証明書の更新は一年に一回必要となりますので、ご注意ください。



▶ 導入設定
▶ 「導入編 -14 導入処理」



第 4 章. 運用設定

導入設定完了後、サービスをご利用いただくために必要な「接続先銀行登録」の設定、「口座登録」の設定を行います。

▶ 運用設定
▶ 「導入編 -31 接続先銀行登録」参照
▶ 「導入編 -32 口座登録」参照

ソフトウェア構成

当製品には、製品出荷時において以下のものが含まれています。はじめに製品内容をお確かめください。

プログラム	CD-ROM (1枚)
マニュアル	操作マニュアル(本書)

ご利用環境

当システムをご利用いただくためには、以下のご利用環境が必要です。最新のご利用環境およびその他のご注意事項について、詳細は当行ホームページをご覧ください。

※ご利用可能な環境は通知することなく変更する可能性があります。

- SMBC マルチバンク資金移動 (VALUX 対応版) ソフト利用環境
URL: <https://www.smbc.co.jp/hojin/eb/multiaccount/kankyo.html>

二次元コード：



システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

システム構成(2)

システム能力

処理項目	最大	備考
親口座	10,000 件	コード：「000000000001」 ～「999999999999」まで
子口座	10,000 件	コード：「000000000001」 ～「999999999999」まで
通知預金口座	10,000 件	コード：「000000000001」 ～「999999999999」まで
入金先口座	10,000 件	コード：「000000000001」 ～「999999999999」まで
資金移動パターン	100 件	コード：「001」～「999」まで
照会パターン	200 件	コード：「001」～「999」まで
資金集中条件	1 資金移動パターンにつき 1,000 件	
資金配分条件	1 資金移動パターンにつき 1,000 件	
残高調整条件	1 資金移動パターンにつき 1,000 件	
グループ	24 件	
タイマー設定情報	100 件	
資金集中結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
資金配分結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
残高調整結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
残高照会結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
振込入金照会結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
入出金明細照会結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
振込振替(個別依頼) 結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
振込振替(複数依頼) 結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
振込振替(結果照会) 結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
振込振替(予約取消) 結果履歴	50～999 件	《導入処理》[運用設定]メニュー で設定できます
汎用出力形式	30 件	
銀行	10,000 件	コード：「0000」～「9999」まで / 銀行支店情報搭載
支店	1 銀行につき 1,000 件	コード：「000」～「999」まで / 銀行支店情報搭載
利用者登録	管理者 1 名 / 担当者 20 名	利用者 ID：英数 12 桁以内 パスワード：英数 12 桁以内
操作履歴	999 件	
管理可能データ領域	1,000 件	

● 注意

親口座・子口座の件数が多いと処理速度が低下することがありますので、1,000 件以下での運用を推奨します。

システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

データ容量目安表

【口座情報】

データ / 件数 (件)	50	100	500	1,000
口座情報	0.47MB	0.48MB	0.73MB	1MB

【結果履歴】

◆通信実行口座：100 件

メニュー名 / 履歴数 (件)	50	100	500	999
資金集中結果履歴	12MB	24MB	119MB	239MB
資金配分結果履歴	12MB	24MB	119MB	239MB
残高調整結果履歴	12MB	24MB	119MB	239MB
残高照会結果履歴	5MB	11MB	58MB	109MB
振込入金照会結果履歴	15MB	31MB	154MB	308MB
入出金明細照会結果履歴	15MB	31MB	155MB	310MB

◆通信実行口座：500 件

メニュー名 / 履歴数 (件)	50	100	500	999
資金集中結果履歴	59MB	117MB	588MB	1,176MB
資金配分結果履歴	59MB	117MB	588MB	1,176MB
残高調整結果履歴	59MB	117MB	588MB	1,176MB
残高照会結果履歴	29MB	59MB	295MB	589MB
振込入金照会結果履歴	77MB	154MB	770MB	1,538MB
入出金明細照会結果履歴	77MB	155MB	776MB	1,551MB



参考

振込入金 / 入出金明細照会は、1 口座につき 10 明細返却されるデータで算出しています。

セットアップ前の注意点

- ◆ セットアップは、システムファイルや共有ファイルが使用中の時、そのファイルの追加や更新ができません。セットアップを行う前に、セットアップを実行するコンピュータで稼動している他のアプリケーションがあれば、終了してください。
- ◆ セットアップ先は、必ずローカルディスク上を指定してください。

セットアップ

当システムが対応している OS がインストールされているコンピュータを起動します。

注意

セットアップは管理者 (Administrators) グループのメンバーで行う必要があります。

CD-ROM をコンピュータにセットすると、セットアッププログラムが自動起動します。

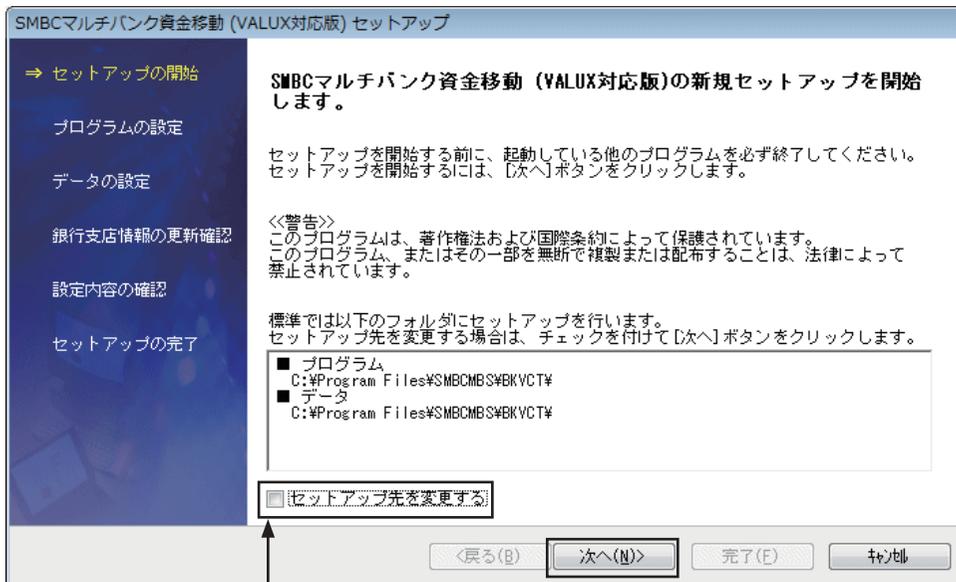
参照

- ◆ OS の設定によっては、[自動再生] 画面が表示されます。[setup.exe の実行] メニューを選択すると、セットアッププログラムが起動します。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示される場合は、画面にしたがって適切な操作を行ってください。
なお、自動起動しない場合は、「[導入編-13 CD-ROM をセットしてもセットアッププログラムが自動起動しない場合は？](#)」をご参照ください。
- ◆ 「Microsoft .NET Framework」および「Microsoft .NET Framework Japanese Language Pack」がコンピュータにインストールされていない場合は、セットアップができません。

参考

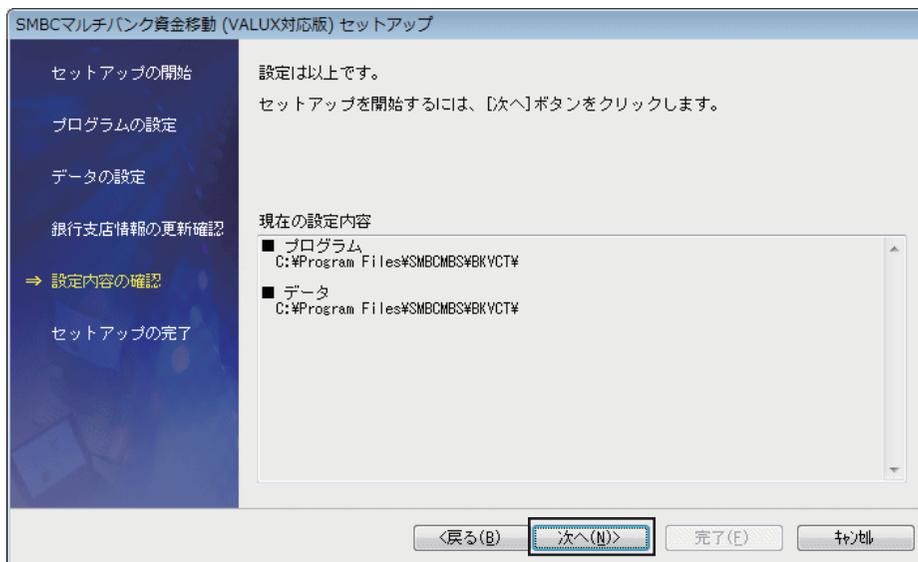
セットアップウィザードの画面には、[戻る] ボタン、[次へ] ボタン、[キャンセル] ボタンが表示されます。セットアップを進める場合は [次へ] ボタン、1 つ前の処理に戻る場合は [戻る] ボタン、セットアップを中断する場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

- ① セットアップの開始
内容を確認して[次へ]ボタンをクリックします。

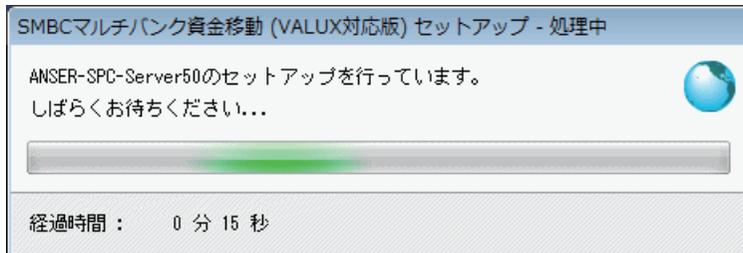


セットアップ先は初期表示されていますが、変更する場合は、「セットアップ先を変更する」にチェックを付けてください。
※ 再セットアップを行う場合は、セットアップ先の変更はできません。

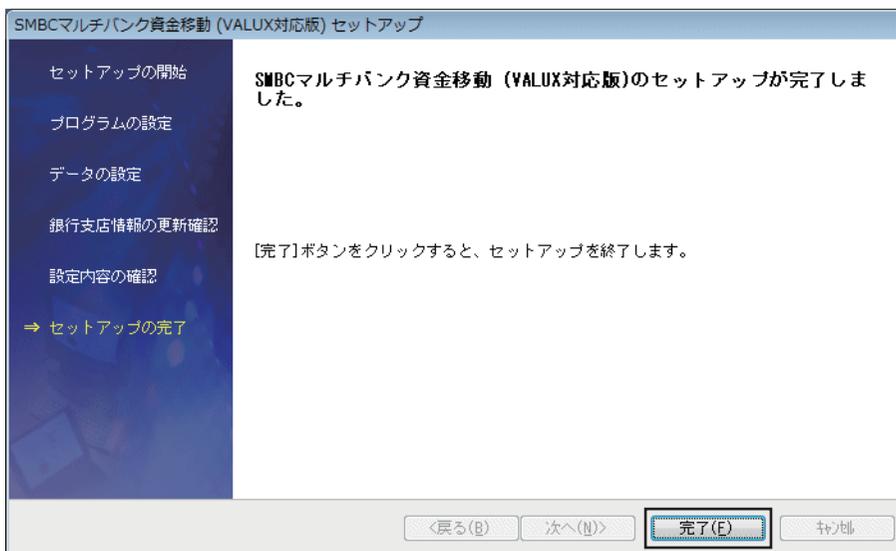
- ② 設定内容の確認
セットアップの実行前に、設定内容の確認をします。セットアップを開始してもよろしければ[次へ]ボタンをクリックします。



- ③ セットアップの実行
セットアップが開始されると、ANSER-SPC-Server50 のセットアップが始まります。



- ④ セットアップの完了
[完了] ボタンをクリックすると、当システムのセットアップが終了します。





参考

再セットアップを行う場合は、[セットアップの開始]画面の次に、[銀行支店情報の更新確認]画面が表示されます。すでに存在している銀行支店情報を上書きするかを選択します。

SMBCマルチバンク資金移動 (VALUX対応版) セットアップ

セットアップの開始

⇒ 銀行支店情報の更新確認

設定内容の確認

セットアップの完了

銀行支店情報を上書きする場合は、チェックを付けてください。

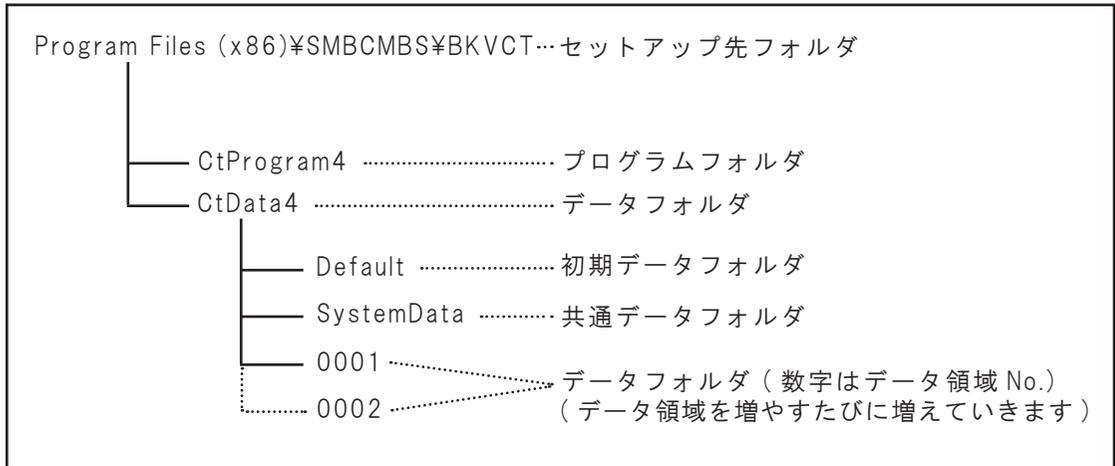
<<注意>>
チェックを付けた場合、修正された情報が上書きされてしまう可能性があります。

銀行支店情報を上書きする

<戻る(B) 次へ(N)> 完了(E) キャンセル

作成されるフォルダの階層

セットアップ時のプログラムとデータのフォルダを「Program Files (x86)¥SMBCMBS¥BKVCT」とした場合



◆ セットアップ後の注意事項

- ① セットアップを行った後は、Windows のエクスプローラ等で上記のフォルダを変更しないでください。
当システムが正常に起動しなくなります。
- ② ハードディスクの増設等でドライブやフォルダが変更になり、当システムが正常に起動しなくなった場合は、再度セットアップを行ってください。



参考

CD-ROM をセットしてもセットアッププログラムが自動起動しない場合は？

- ① [スタート] ボタンをクリックし（「すべてのアプリ」が表示されている場合は選択して）、
「Windows システム ツール」（または「Windows ツール」）の中の
[ファイル名を指定して実行] を選択します。
- ② 「名前」欄に「?:¥SETUP.EXE」と入力します。
「?」は CD ドライブ名です。
コンピュータの機種やドライブの構成により、「D」や「F」などの場合もあります。
- ③ [OK] ボタンをクリックすると、当システムのセットアッププログラムが起動します。
※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示される場合は、画面にしたがって適切な操作を行ってください。

処理の流れ

当システムの導入処理の流れについて説明します。

① 利用者登録

当システムを使用する管理者と担当者を登録します。

▶「[導入編 -16 利用者登録](#)」参照

② データ領域の作成

当システムを使用するデータ領域を作成します。

▶「[導入編 -18 データ領域の作成](#)」参照

③ 通信環境設定

ご契約の銀行に接続するための通信の設定を行います。

▶「[導入編 -20 通信環境設定](#)」参照

④ 証明書発行・更新

VALUX 通信を行う場合は、必ず設定します。

▶「[導入編 -22 VALUX 電子証明書発行・更新](#)」参照

第5章 運用設定

システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

第3章

導入設定

導入処理(2)

システムの概要

セットアップ

導入設定

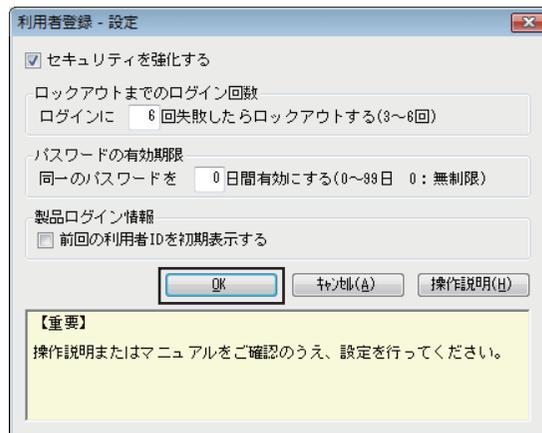
運用設定

利用者登録

- ① デスクトップ上の「SMBCマルチバンク資金移動 (VALUX 対応版)」のアイコンをダブルクリックして当システムを起動します。下記のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ② [利用者登録 - 設定] 画面が表示されますので、セキュリティを強化する場合は、チェックを付け、セキュリティを強化しない場合は、チェックを外します。必要事項を入力し、[OK] ボタンをクリックします。登録の確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



参考

「セキュリティを強化する」のチェックを付けた場合

- ◆ 「ロックアウトまでのログイン回数」、「パスワードの有効期限」、「製品ログイン情報」を指定することができます。
- ◆ 指定したパスワードは以下の条件を満たす必要があります。

1. 必ず数字を含める。
2. 英大文字・英小文字のどちらかを必ず含める。
3. 8文字以上に設定する。
4. 過去4回分のパスワードは設定できない。

※ 管理者が担当者の仮パスワードを発行する場合には、4の条件は該当しません。

③ 管理者の権限を設定します。必要項目を入力し、[登録]ボタンをクリックします。

権限区分	設定	権限詳細	設定
資金集中	×	参照	×
資金配分	×	削除	×
残高調整	×	条件登録/変更	×
資金移動結果照会	×	残高照会	×
資金移動予約取消	×	振込振替(依頼)	×
資金移動結果サマリー表	×		
残高照会	×		
振込入金照会	×		
入出金明細照会	×		
振込振替(個別依頼)	×		
振込振替(複数依頼)	×		
振込振替(結果照会)	×		
振込振替(予約取消)	×		
資金移動データ出力	×		

対象となる権限区分名、権限詳細名にカーソルを合わせ、ダブルクリックするか[Space]キーを押して「○」「×」を切り替えて設定します。

○: 選択した[権限区分]、[権限詳細]の権限を付加

×: 選択した[権限区分]、[権限詳細]の権限を制限

管理者名やパスワード、権限の設定が終了したら[登録]ボタンをクリックします。

権限区分	設定	権限詳細	設定
資金集中	×	参照	×
資金配分	×	削除	×
残高調整	×	条件登録/変更	×
資金移動結果照会	×	残高照会	×
資金移動予約取消	×	振込振替(依頼)	×
資金移動結果サマリー表	×		
残高照会	×		
振込入金照会	×		
入出金明細照会	×		
振込振替(個別依頼)	×		
振込振替(複数依頼)	×		
振込振替(結果照会)	×		
振込振替(予約取消)	×		
資金移動データ出力	×		

④ 担当者の方の利用者権限を設定します。設定方法は③の管理者の場合と同じです。全ての利用者の登録が完了しましたら、[閉じる](F12)キーを押して終了します。

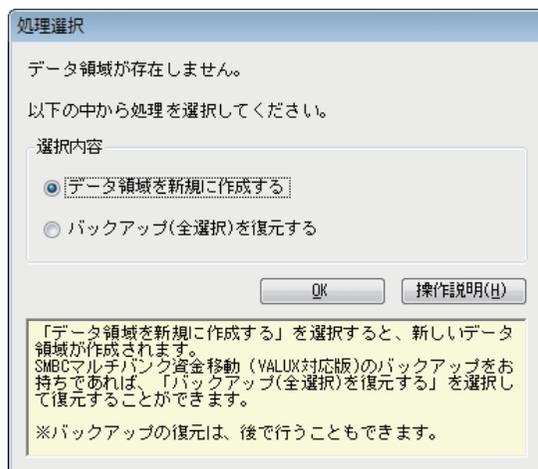


ヒント

- ◆ 担当者の登録は、《各種管理》[利用者登録]メニューから後ほど登録できますので、この時点では管理者の登録のみでもかまいません。
- ◆ 利用者情報のバックアップをお持ちの場合は、[復元](F6)キーを押すと利用者情報を復元できます。▶「[操作要領編-47 利用者情報のバックアップを作成・復元する場合は?](#)」参照

データ領域の作成

① [処理選択]画面が表示されますので、いずれかの方法でデータ領域を作成します。



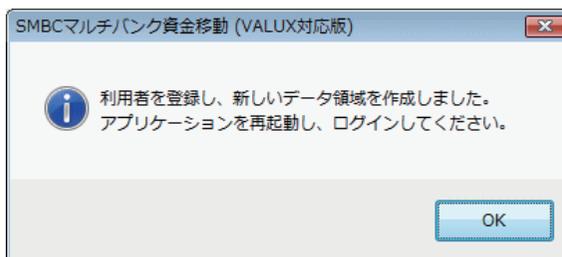
【新規にデータ領域を作成して運用を開始する場合】

「データ領域を新規に作成する」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

【バックアップ（全選択）を復元して運用する場合】

「バックアップ（全選択）を復元する」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
この場合、以前まで運用されていたデータを利用して運用を再開することができます。

② データ領域の作成が終了すると、下記のメッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックすると、一度、当システムは終了します。



2 回目以降の起動

デスクトップ上の「SMBC マルチバンク 資金移動 (VALUX 対応版)」のアイコンをダブルクリックして当システムを起動します。

ログイン画面が表示されますので、《各種管理》[利用者登録] メニューで登録した利用者の情報を入力します。

【セキュリティを強化している場合】

[利用者登録] メニューで登録した利用者 ID とパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。

※ パスワードを変更する場合は [パスワード変更] ボタンをクリックして変更してください。

※ 担当者の場合は、初回起動時にパスワードの変更が必要です。

【セキュリティを強化していない場合】

[利用者登録] メニューで登録した利用者のパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。

参考

当システムを起動するときに、誤ってパスワードを規定回数連続して入力するとロックがかかり、製品にログインできなくなります。

【セキュリティを強化している場合】

利用者がロックアウトされた場合は、管理者が [利用者登録] メニューで「利用者のロックアウト」のチェックを外して解除してください。操作手順は当システムの操作説明を参照してください。また、管理者がロックアウトされた場合は、管理者の方から、当システムのお問い合わせ窓口までご連絡ください。

【セキュリティを強化していない場合】

管理者の方から当システムのお問い合わせ窓口までご連絡ください。

第3章

導入設定

通信環境設定

システムの概要

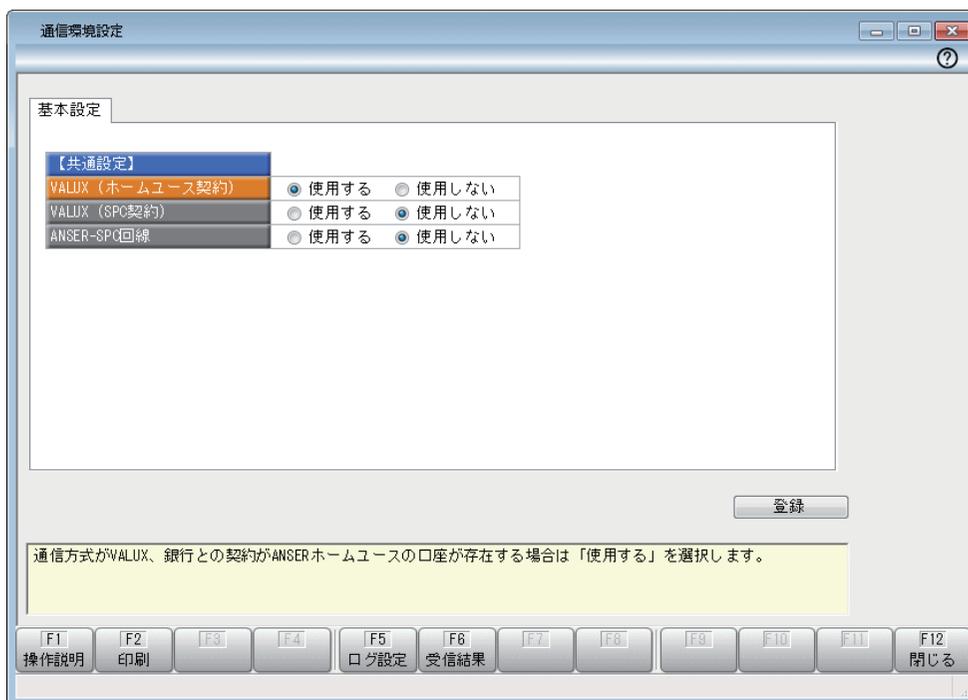
セットアップ

導入設定

運用設定

通信環境設定の概要

《導入処理》[通信環境設定]メニューで、利用する通信方式を登録します。



通信環境設定の登録

画面上の項目説明を参照し、各設定を行ってください。
設定後は、[登録]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックして、登録します。

システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

第3章 導入設定

VALUX 電子証明書発行・更新(1)

システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

証明書とは？

証明書とは VALUX サービスをご利用になる場合に、その証明書を VALUX センターでチェックすることで利用者のサービスの利用可否を確認するために必要なものです。VALUX センターより発行された証明書をお持ちでない場合は、VALUX サービスはご利用いただけません。

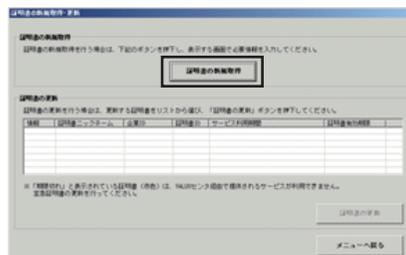
●注意

- ◆ 証明書発行期限（VALUX センターより郵送された ID 通知書に記載）までに当システムにて証明書を取得してください。
- ◆ 証明書には有効期限が存在し、この期限を過ぎるとご利用いただけません。有効期限を過ぎる前に証明書の更新作業を行ってください。
- ◆ 証明書を利用しているコンピュータを変更する場合、証明書を他のコンピュータへ移すことはできません。証明書の追加申し込みを行い、新しいコンピュータでの証明書の新規取得と、今まで利用していた証明書の解約（失効手続き）が必要です。また、OS の再セットアップを行う場合も同様です。
- ◆ ワークグループに参加している場合、ネットワークパスワード（パソコンを起動する際に入力するパスワード）をリセットすると電子証明書がご利用いただけなくなります。再度ご利用いただく場合は、リセットではなく変更にてパスワードを設定していただく必要があります。

導入時の処理

VALUX サービスで利用可能な証明書を VALUX センターより新規取得してください。証明書取得の際は、VALUX サービスを利用する Windows サインインユーザー名で Windows にサインイン後、操作してください。証明書取得時の Windows サインインユーザー名以外では VALUX サービスを一切利用できません。

- ① 《導入処理》[VALUX 電子証明書発行・更新]メニューを選択します。
- ② [メニュー]画面が表示されますので、[証明書の新規取得・更新]ボタンをクリックします。
- ③ [証明書の新規取得・更新]画面が表示されますので、[証明書の新規取得]ボタンをクリックします。



- ④ [証明書新規取得] 画面が表示されますので、「企業 ID」「証明書 ID」など必要項目について入力し、[取得] ボタンをクリックします。

- ⑤ 証明書の新規取得を行うかメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑥ 証明書の新規取得処理の結果が [結果] 画面に表示されますので、「正常終了」と表示されているかを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

証明書の新規取得処理に成功した場合は「正常終了」と表示されます。
また、新規取得処理に失敗した場合は失敗した理由が表示されますのでご確認ください。

- ⑦ [利用する証明書の選択] 画面が表示されますので、新規取得した証明書が利用する証明書として選択されているか確認します。確認が終わりましたら、[メニューへ戻る] ボタンをクリックします。

- ⑧ [メニュー] 画面が表示されますので、[終了] ボタンをクリックして終了します。

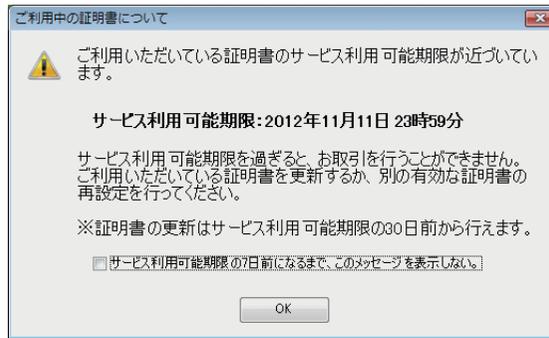
更新時の処理（取得している証明書が有効期限間近の場合）

取得済みで有効期限間近（サービス利用可能期限日の30日前）の証明書に関して、サービス利用を継続するための証明書の更新処理を行います。

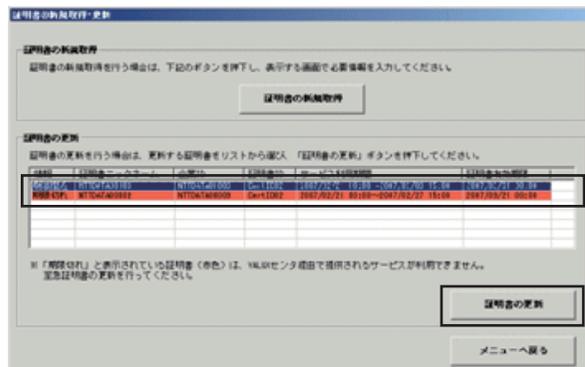


参考

当システム起動時に以下のメッセージが表示された場合に、「更新時の処理（取得している証明書が有効期限間近の場合）」を行ってください。

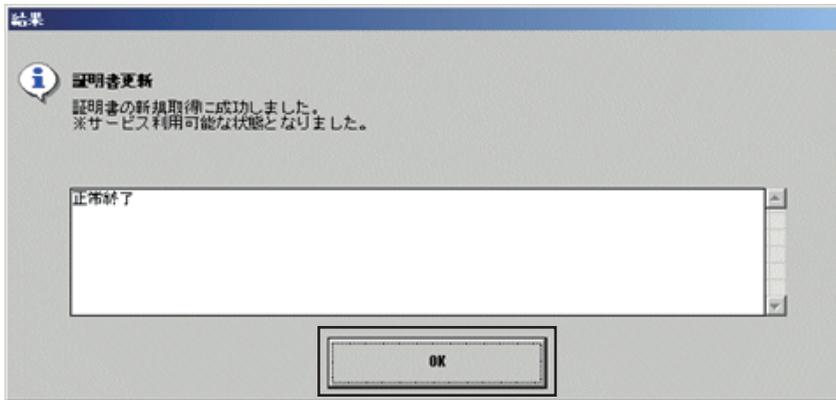


- ① 《導入処理》[VALUX 電子証明書発行・更新]メニューを選択します。
- ② [メニュー]画面が表示されますので、[証明書の新規取得・更新]ボタンをクリックします。
- ③ [証明書の新規取得・更新]画面が表示されますので、証明書リストから更新を行う証明書を選択して[証明書の更新]ボタンをクリックします。



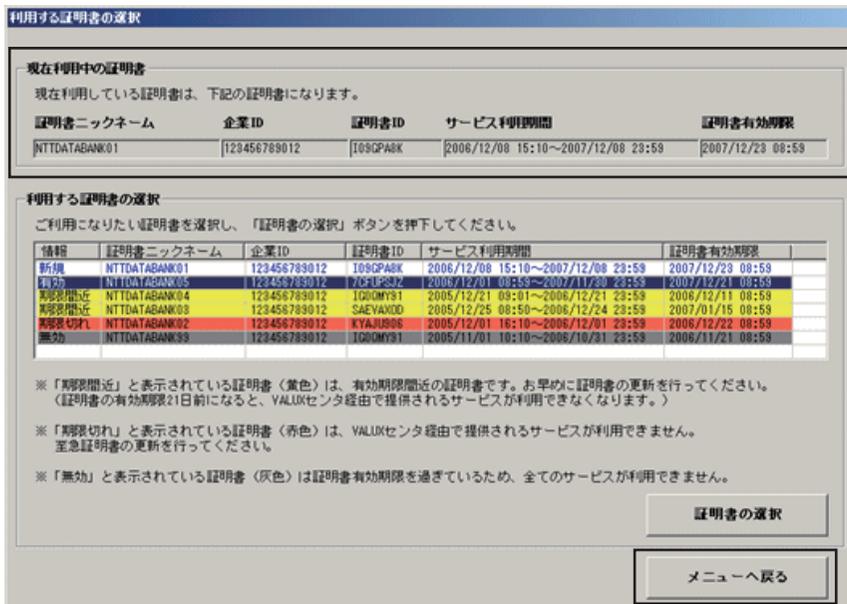
- ④ 証明書の更新を行うかメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

- ⑤ 証明書の更新処理の結果が [結果] 画面に表示されますので、「正常終了」と表示されているかを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



証明書の更新処理に成功した場合は「正常終了」と表示されます。また、更新処理に失敗した場合は失敗した理由が表示されますのでご確認ください。

- ⑥ [利用する証明書の選択] 画面が表示されますので、更新した証明書が利用する証明書として選択されているか確認します。確認が終わりましたら、[メニューへ戻る] ボタンをクリックします。



- ⑦ [メニュー] 画面が表示されますので、[終了] ボタンをクリックして終了します。

証明書の有効期限

証明書には有効期限が存在し、有効期限を過ぎるとご利用いただけません。

有効期間は有効期間開始日（証明書発行日）から1年（366日）と3週間（21日）後の387日間と、翌日8時59分までです。

また、証明書のVALUXサービス利用可能期間は366日間となります。366日後の23時59分を過ぎるとサービスがご利用いただけませんので、証明書の更新処理が必要となります。

証明書の更新は、336日目（サービス利用可能期限の30日前、有効期間終了日の51日前）の0時から有効期間終了日まで行うことができます。

証明書有効期間	証明書有効期間		利用不可
サービス利用	サービス利用期間	サービス利用不可	
証明書更新	更新不可期間	更新可能期間	

▲証明書有効期間開始日 1日
 ▲更新可能期間開始日時 (336日後0時以降)
 ▲サービス利用可能期限 (366日後23時59分まで)
 ▲証明書有効期間終了日 (388日後8時59分まで)

上記は日本時間（JST）で説明していますが、証明書有効期限の管理は、実際には世界標準時（GMT）で行われます。

従って、時差のために日本時間で9時以後に新規発行・更新した証明書は上記のとおりとなりますが、8時59分59秒までに新規発行・更新した証明書については、それぞれ下記の日数となります。

- ◆ 更新可能期間開始日時 : 335日後0時以降
- ◆ サービス利用可能期限 : 365日後23時59分まで
- ◆ 証明書有効期間終了日 : 387日後8時59分まで

証明書新規取得・更新サービス日とサービス時間帯

証明書新規取得・更新のサービス日とサービス時間帯は以下のとおりです。
この他、VALUX センターで設備等のメンテナンス作業が発生した場合は、サービスを停止する場合があります。

平日 (通常運転日)	定期休止日 (非運転日)	不特定休止日・休止時間帯 (非運転日、非運転時間帯)
8:00 ~ 23:55	土曜、日曜、祝日、1/1、1/2、 1/3、5/3、5/4、5/5、12/31 (24時間連続でサービスを閉塞 します。)	VALUX センターにて不定期でサー ビスを閉塞することがあります。 (閉塞する場合は、事前に VALUX を 紹介するウェブサイトの情報公開しま す。)

シ
ス
テ
ム
の
概
要

セ
ツ
ト
ア
ッ
プ

導
入
設
定

運
用
設
定

処理の流れ

当システムの運用設定の流れについて説明します。

① 運用設定

当システムの運用上の各種設定を行います。

▶「[導入編 -30 運用設定](#)」参照

② 接続先銀行登録

接続先の銀行別に、番号方式や預金種目コードなどの情報をあらかじめ登録します。

▶「[導入編 -31 接続先銀行登録](#)」参照

③ 口座登録

資金移動や照会を行う口座情報を登録します。

▶「[導入編 -32 口座登録](#)」参照

④ グループ登録

《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【全般】「グループ」を「使用する」にした場合に登録できます。

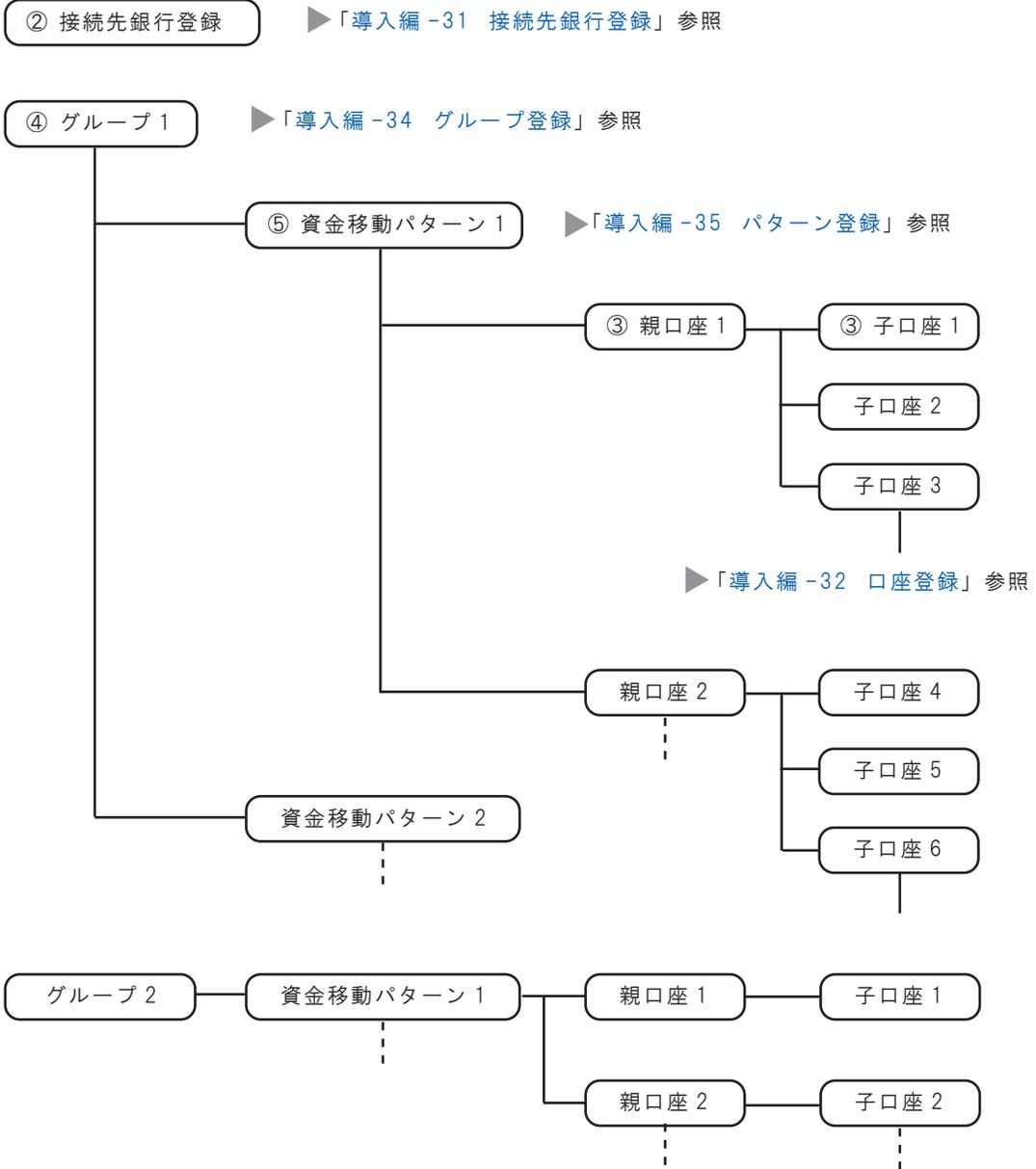
▶「[導入編 -34 グループ登録](#)」参照

⑤ パターン登録

資金移動時の口座の組み合わせや受取人番号など、資金移動パターンの登録をします。照会パターンも必要に応じて登録します。

▶「[導入編 -35 パターン登録](#)」参照

各口座と資金移動パターンとの関係（グループを使用する）



参考

グループを使用しない場合は、パターンはグループ化されません。

第4章

運用設定

運用設定 / 接続先銀行登録

システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

運用設定の概要

《導入処理》[運用設定]メニューで当システムでの運用上の設定や、資金移動 / 照会 / 振込振替 / ファイル出力時の各種設定を行います。ここで設定した情報は、データ領域ごとに保持されます。



運用設定の登録

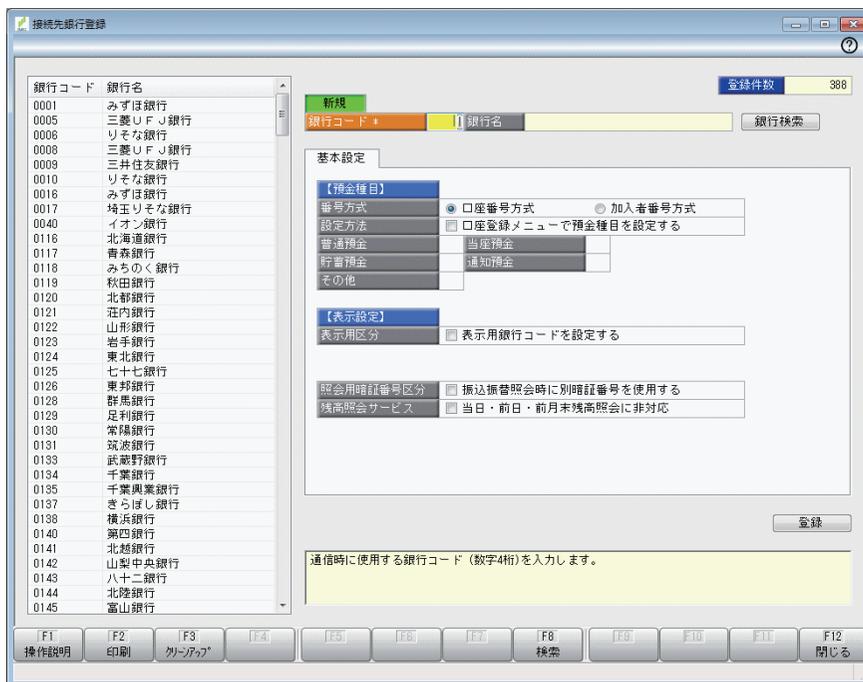
画面上の項目説明または、当システムの操作説明を参照し、当システムを運用する上で必要な設定を行ってください。
 設定後は、[登録](F12)キーを押すと、確認メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックして、登録します。

接続先銀行登録の概要

《導入処理》[接続先銀行登録]メニューで接続先の銀行別に、番号方式や預金種目コード、接続先情報などをあらかじめ登録します。

●注意

ここで登録していない銀行を《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]/[通知預金口座登録]メニューで選択することはできません。
口座を登録する前に、必ず接続先銀行の情報を登録してください。



接続先銀行の登録

画面上の項目説明または、当システムの操作説明を参照し、番号方式や預金種目コードなど必要な各設定を行ってください。

設定後は、[登録] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックして、登録します。

第4章 運用設定

口座登録

システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

口座登録の概要

《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]/[通知預金口座登録]メニューで資金移動および、照会・振込振替を行う口座情報の登録・修正・削除を行います。

- ◆ 親口座・子口座の登録を完了していない場合、資金移動を行うことができません。
- ◆ [親口座登録]メニューで本社口座を登録し、[子口座登録]メニューで支社口座を登録します。
- ◆ [通知預金口座登録]メニューで通知預金口座の情報を登録します。



参考

《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]/[通知預金口座登録]メニューでは、[ファイル出力](F9)キーから、口座情報を外部ファイルに出力したり、[ファイル取込](F10)キーより、外部ファイルから口座情報を取り込むことができます。

※ ファイル取込 / 出力フォーマットは、メインメニュー上部の[ヘルプ]-[ファイル取込・出力フォーマット]をクリックすると表示される『ファイル取込・出力フォーマット』をご参照ください。

口座コード	口座の説明
000000001001	渋谷営業所
000000001002	大阪支社
000000001003	名古屋支社
000000001004	札幌支社
000000001005	青山営業所
000000001006	有楽町営業所
000000001007	原宿営業所
000000001008	池袋営業所
000000001009	東京多摩工場
000000001010	八王子営業所
000000001011	横田営業所
000000001012	広島営業所
000000001013	新宿営業所
000000001014	新潟営業所
000000001015	尼崎営業所
000000001016	柏江営業所
000000001017	福岡営業所
000000001018	熊本営業所
000000001019	鹿児島営業所
000000001020	青森営業所
000000001021	大宮営業所
000000001022	浦和営業所
000000001023	柏宮営業所

新規

子口座コード * 000000001024 登録件数 23

口座の説明 *

銀行コード * 銀行名 銀行検索

支店コード * 支店名 支店検索

預金種目 * 口座番号 *

通信方式 * VALUX (ホームユース契約)

貸越枠使用区分 移動金額の算出に貸越枠を含む場合

暗証番号 登録

口座の種類や使用用途など、どの口座情報であるか判別がつくように任意の説明を入力します。(全角15桁)
通信前面面や処理結果画面では、この説明が常に表示されます。

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 F6 F7 F8 検索 F9 ファイル出力 F10 ファイル取込 F11 F12 閉じる



参考

最新の銀行コード・支店コードの情報を利用するには銀行支店情報ダウンロードをご利用ください。

▶ 「操作要領編-48 銀行支店情報のダウンロード」参照

各口座の登録

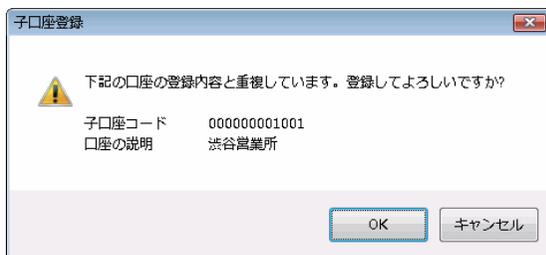
画面上の項目説明または、当システムの操作説明を参照し、親口座・子口座および通知預金口座の各設定を行ってください。

設定後は、[登録]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックして、登録します。

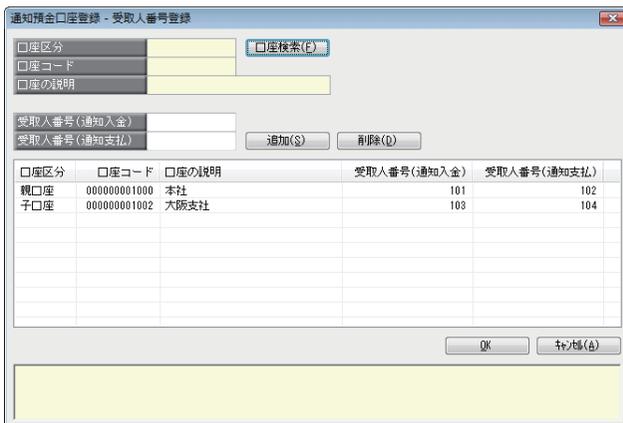


参考

- ◆ 口座コードの付番規則について
《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【導入処理】「口座コードの自動付番」で「する」が選択されている場合のみ、自動付番した口座コードが初期表示されます。
- ◆ 同一口座情報がすでに登録されている場合、下記のメッセージが表示されます。
※ 以下の場合、同一の口座情報であると判断されます。
 - ・ 口座番号方式の場合
「銀行コード」「支店コード」「預金種目」「口座番号」がすべて同じ
 - ・ 加入者番号方式の場合
「銀行コード」「加入者番号」がすべて同じ



- ◆ 通知預金口座の受取人番号について
《導入処理》[通知預金口座登録]メニューの場合、[受取人番号](F11)キーより、親口座・子口座に対しての通知入金・通知支払の受取人番号を登録できます。登録した受取人番号は《日常処理》[振込振替(個別依頼)]メニューで受取人番号を入力するときに検索することができます。



第4章

運用設定

グループ登録

システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

グループ登録の概要

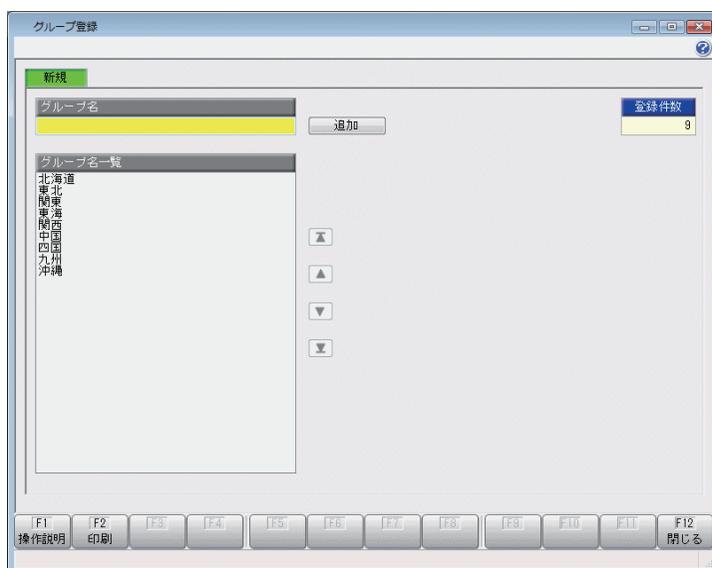
《導入処理》[グループ登録]メニューで、グループの登録・修正・削除を行います。ここで登録したグループを《導入処理》[資金移動パターン登録]/[照会パターン登録]メニューで、パターンに結びつけると、《日常処理》[残高照会]/[振込入金照会]/[入出金明細照会]メニューや《日常処理》[資金集中]/[資金配分]/[残高調整]メニューの[パターン選択]画面で、グループごとにパターンを表示することができます。



参考

《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【全般】「グループ」で「使用する」が選択されている場合に、《導入処理》[グループ登録]メニューが表示され、グループを登録することができます。

※ 当システム導入時は、グループを使用しない設定になっています。グループを利用する場合は、《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【全般】「グループ」で「使用する」を選択してください。



グループの登録

グループ名を入力して、[追加]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックして、登録します。



参考

《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【全般】「グループ」が「使用する」の場合、グループ未設定のパターンは、自動的に「その他」グループに分類されます。

第4章

運用設定

パターン登録

資金移動パターン登録の概要

親口座と集中・配分・調整を行う子口座の組み合わせや受取人番号について、登録・修正・複写・削除を行います。

- ◆ 受取人番号は、《日常処理》[資金集中]/[資金配分]/[残高調整]メニューや《日常処理》[振込振替（個別依頼）]/[振込振替（複数依頼）]メニューで入金先を指定するために使用します。
- ◆ パターンは、《日常処理》[残高照会]/[振込入金照会]/[入出金明細照会]メニューで、照会を行うパターンとしても使用できます。



参考

- ◆ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【全般】「グループ」で「使用する」が選択されている場合、資金移動パターンをグループに所属させることができます。
※ 照会、資金移動時の[パターン選択]画面で、グループごとにパターンを表示することができます。
- ◆ 《導入処理》[資金移動パターン登録]メニューでは、資金移動パターンを外部ファイルから取り込むことができます。
※ ファイル取込フォーマットは、[ヘルプ]-[ファイル取込・出力フォーマット]をクリックすると表示される『ファイル取込・出力フォーマット』をご参照ください。
- ◆ 《導入処理》[照会パターン登録]メニューでは、残高照会、振込入金照会、入出金明細照会を行う口座の組み合わせについて、登録・修正・複写・削除を行います。

子口座	子口座の説明	子口座番号	受取人番号
00000001001	水谷支店	三井住友銀行 水谷支店	普通 1234567 001 001
00000001006	有楽町支店	いずは銀行 藤屋支店	普通 1234567 001 006
00000001007	原宿支店	A社支店	普通 1234567 001 007
00000001008	赤坂支店	三井住友銀行 東京支店	普通 1234567 001 008
00000001009	東京支店	いずは銀行 多摩支店	普通 1234567 001 009

資金移動パターンの登録について

画面上の項目説明または、当システムの操作説明を参照し、各設定を行ってください。設定後は、[登録](F12)キーを押すと、確認メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックして、登録します。

※ [照会パターン登録]メニューで登録した場合も同じく、画面上の項目説明または、当システムの操作説明を参照し、各設定を行ってください。

▶「導入編 -29 各口座と資金移動パターンの関係（グループを使用する）」参照

システムの概要

セットアップ

導入設定

運用設定

システムの概要

セットアップ

導入設定

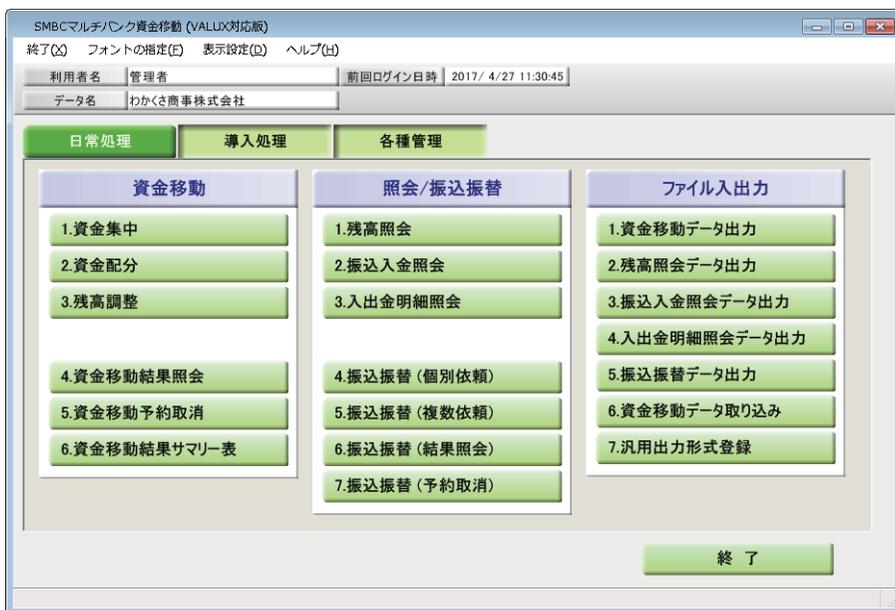
運用設定

第 2 部

操作要領編

日常処理で利用する各ボタンの役割は以下の通りです。

また、資金集中や資金配分操作を行うには、あらかじめ接続先銀行登録、口座登録、パターン登録の作業が必要です。登録操作につきましては「[導入編-28 運用処理](#)」をご参照ください。



1. 資金移動

(1) 資金集中

子口座から親口座に資金を集中する場合に利用します。

(2) 資金配分

親口座から子口座に資金を配分する場合に利用します。

(3) 残高調整

目標残高に設定した金額になるように資金移動を実行します。

例. 子口座の目標残高が 80 万円の場合

①子口座の現在残高が 30 万円の場合

→親口座から子口座に不足分の 50 万円を資金移動します。

②子口座の現在残高が 100 万円の場合

→子口座から親口座に超過分の 20 万円を資金移動します。

※ 残高調整を利用するには、親口座・子口座ともに各金融機関と資金移動の契約を結ぶ必要があります。

(4) 資金移動結果照会

上記(1)(2)(3)のいずれかの画面で実行した資金移動の受付状況が確認できます。

また、資金移動パターン単位で資金移動の受付状況を確認できます。

(5) 資金移動予約取消

上記(1)(2)(3)のいずれかの画面で実行した予約分の取消処理を行うことができます。

※即時資金移動の取消処理はできません。

(6) 資金移動結果サマリー表

上記(1)(2)(3)(5)で実行した資金移動結果を、資金移動パターン及び資金移動実行日単位にまとめて印刷します。

2. 照会 / 振込振替

- (1) 残高照会
残高の確認ができます。
- (2) 振込入金照会
振込された入金明細のみを確認できます。
- (3) 入出金明細照会
入出金の明細を確認できます。
- (4) 振込振替（個別依頼）
登録している出金口座から受取人番号を直接入力して資金移動を実施することができます。
- (5) 振込振替（複数依頼）
出金口座・入金先口座の組み合わせを複数登録し、一括で振込振替を行います。
- (6) 振込振替（結果照会）
(4)、(5)で実行した資金移動の受付状況を確認できます。
- (7) 振込振替（予約取消）
(4)、(5)で実行した予約分の取消処理を行うことができます。
※即時資金移動の取消処理はできません。

3. ファイル入出力

- (1) 資金移動データ出力
資金移動結果を外部出力します。
- (2) 残高照会データ出力
残高照会結果を外部出力します。
- (3) 振込入金照会データ出力
振込入金照会結果を外部出力します。
- (4) 入出金明細照会データ出力
入出金明細照会結果を外部出力します。
- (5) 振込振替データ出力
振込振替（複数依頼）の結果を外部出力します。
- (6) 資金移動データ取り込み
資金移動を実行する際の金額情報を外部ファイルから取り込みます。取り込み後にそのまま資金移動を実行することもできます。
- (7) 汎用出力形式登録
上記(1)～(5)でファイル出力する際の出力形式を登録できます。

◆ サービスご利用時間について

三井住友銀行のサービスご利用時間は、以下のとおりです。
なお、金融機関ごとにご利用時間は異なります。

サービス種類		ご利用時間	
照会機能		8：45～21：00	月～金曜日 (銀行休業日を除きます)
		9：00～17：00	土曜日(※)
資金移動	振込・振替	本支店宛 8：45～16：00 他行宛 8：45～15：10	月～金曜日 (銀行休業日を除きます)
	振込予約・振替予約 (5営業日先までの 日付指定が可能)	8：45～21：00 9：00～17：00	土曜日(※)

※ 祝日および年始（1月1日～3日）はご利用いただけません。

12月31日（日曜日と重なった場合は除く）は土曜日と同じ扱いになります。

第1章 資金移動

資金集中 / 資金配分 / 残高調整 (1)

資金移動の概要

資金集中とは、残高照会を実行し、集中予定金額を確認後、子口座から親口座へ資金を移動することです。残高照会後に集中予定金額を修正できます。

資金配分とは、残高照会を実行し、配分予定金額を確認後、親口座から子口座へ資金を移動することです。残高照会後に配分予定金額を修正できます。

残高調整とは、残高照会を実行し、調整予定金額を確認後、親口座と子口座の間で資金集中と資金配分を組み合わせて実行することです。残高照会後に調整予定金額を修正できます。

※ 残高調整を行う場合は、対象の口座すべてに残高照会、振込・振替の契約が必要です。



参考

資金集中・資金配分は残高照会を行わずに資金を移動することもできます。

資金集中条件の概要

【例】子口座の預金残高が 100 万円の場合

① 指定金額方式（指定金額 30 万円）

指定された金額（指定額）を、子口座から親口座へ資金移動します。



② 目標残高方式（目標残高 30 万円）

指定された残高（目標残高）を残して、超過額を子口座から親口座へ資金移動します。



参考

目標残高を 0 円にした場合、子口座の残高を全額集中します。

資金移動

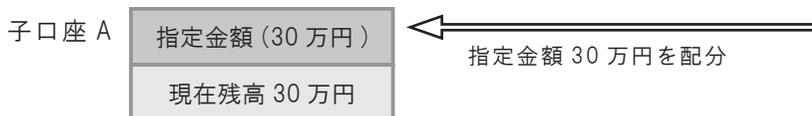
照会
振込
振替ファイル
入出力バック
アップ
と復元

その他

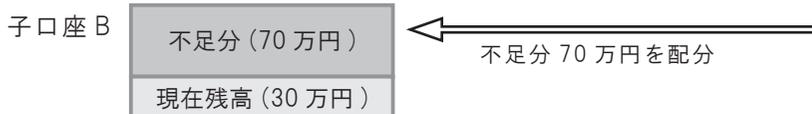
資金配分条件の概要

【例】子口座の預金残高が 30 万円の場合

- ① 指定金額方式（指定金額 30 万円）
指定された金額（指定額）を、
親口座から子口座へ資金移動します。



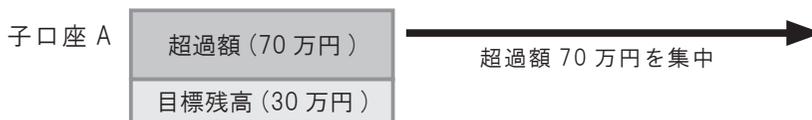
- ② 目標残高方式（目標残高 100 万円）
残高（目標残高）になるように、
不足分を親口座から子口座へ資金移動します。



残高調整条件の概要

【例】子口座の預金残高が 100 万円の場合

- ① 子口座 A：目標残高方式（目標残高 30 万円）
残高（目標残高）より超過している場合は、子口座から親
口座へ資金移動します。



- ② 子口座 B：目標残高方式（目標残高 150 万円）
残高（目標残高）より不足している場合は、親口座から子
口座へ資金移動します。



資金集中の流れ

子口座から親口座へ資金移動を実行します。

◆ 新規実行する

処理日時	パターン名	条件名	状態	完了	実行中	対象外
2011/12/08 17:41	関西地区 移動用	売上金回収	振込中	1件	3件	0件
2011/12/08 17:13	首都圏 移動用	売上金回収	振込済	5件	0件	0件
2011/10/18 9:48	全国 移動用	売上金回収	振込済	23件	0件	0件
2011/10/18 9:45	九州地区 移動用	売上金回収	振込済	3件	0件	0件
2011/10/18 9:44	関西地区 移動用	売上金回収	振込済	4件	0件	0件
2011/10/18 9:41	首都圏 移動用	売上金回収	振込済	5件	0件	0件

① 《日常処理》[資金集中]メニューを選択します。
[履歴選択]画面が表示されますので、[新規実行]ボタンをクリックします。

参考

参照する履歴をリストより選択し、[履歴参照]ボタンをクリックすると、資金集中結果を[資金集中]画面より確認できます。

参考

[履歴選択]画面は資金集中処理を実行すると画面上に処理結果が残ります。処理結果は、《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【全般】「結果履歴保有数」で設定した保有数分保持します。保有数を超えた場合、日付の古い履歴から順に削除されます。

▶「導入編-30 運用設定」参照

コード	パターン名	親口座	子口座
001	首都圏 移動用	1件	5件
002	関西地区 移動用	1件	4件
003	九州地区 移動用	1件	3件
004	全国 移動		

② [パターン選択]画面が表示されますので、パターン名を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

- ▶ 資金集中条件を登録していない場合、または《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「新規実行時の初期表示画面」で「金額修正画面」が選択されている場合は、③へ進みます。
- ▶ 資金集中条件を登録している場合は、④へ進みます。

③ [金額修正]画面が表示されますので、資金集中条件を入力し、[登録](F12)キーを押します。

新規実行
パターン名 首都圏 移動用 資金集中条件名 売上金回収
親口座の説明 00000001000 本社
親口座情報 (0009)三井住友銀行 (221)新宿支店 普通預金 1234567 [1/1]
残高基準 当日残高を基準にする 振込振替指定日 指定する

子口座の説明	指定金額	目標残高	起動金額	振込単位金額
子口座情報				
00000001001 渋谷営業所		200,000	200,000	1
三井住友銀行 渋谷支店 普通 1234567				
00000001006 有楽町営業所		150,000	150,000	1
いはり銀行 銀座支店 普通 1234567				
00000001007 原宿営業所	50,000			
A B C銀行 新宿支店 普通 1234567				
00000001008 池袋営業所	90,000			
三井住友銀行 池袋支店 普通 1234567				
00000001009 東京多摩工場	10,000			
いはり銀行 多摩支店 普通 1234567				

指定金額を入力します。子口座の残高にかかわらず、ここで入力した金額だけ親口座に振り込みます。

F12 登録

④ [実行前]画面が表示されますので、資金集中を行う子口座にチェックを付けて、[実行]ボタンをクリックします。

新規実行
パターン名 首都圏 移動用 実行前 残高照会結果 資金移動結果
親口座の説明 00000001000 本社
親口座情報 (0009)三井住友銀行 (221)新宿支店 普通預金 1234567 [1/1]
残高基準 当日残高を基準にする 振込振替指定日 指定する

子口座の説明	指定金額	目標残高	起動金額	振込単位金額
<input checked="" type="checkbox"/> 00000001001 渋谷営業所		200,000	200,000	1
<input checked="" type="checkbox"/> 三井住友銀行 渋谷支店 普通 1234567				
<input checked="" type="checkbox"/> 00000001006 有楽町営業所		150,000	150,000	1
<input checked="" type="checkbox"/> いはり銀行 銀座支店 普通 1234567				
<input checked="" type="checkbox"/> 00000001007 原宿営業所				
<input checked="" type="checkbox"/> A B C銀行 新宿支店 普通 1234567				
<input checked="" type="checkbox"/> 00000001008 池袋営業所				
<input checked="" type="checkbox"/> 三井住友銀行 池袋支店 普通 1234567				
<input checked="" type="checkbox"/> 00000001009 東京多摩工場				
<input checked="" type="checkbox"/> いはり銀行 多摩支店 普通 1234567				

選択済件数 5件 対象外件数 0件

F8 金額修正

実行(E)

参考
振込日を指定する場合、「振込振替指定日」の「指定する」にチェックを付けます。チェックを付けると、「カレンダー」画面が表示されますので、振込日を指定します。

参考
金額を修正する場合は[金額修正](F9)キーを押します。③の画面が表示されますので、金額を入力して[登録](F12)キーを押します。

参考
1つのパターンに移動金額を決定する条件を複数登録し、通信実行前に利用する条件を変更できます。条件については「操作要領編-4 資金集中条件の概要」をご参照ください。[条件変更]ボタンをクリックすると、他の条件を選択したり、条件を登録・変更・削除することができます。

第1章 資金移動

資金集中 / 資金配分 / 残高調整 (3)

◆ 通信を実行する



① [実行前設定]画面が表示されますので、「実行区分」を選択して、[通信開始]ボタンをクリックします。

※《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「親口座の残高照会(集中)」で「実行する」が選択されている場合は、「※ 親口座の残高照会する / しない」より選択してください。

※《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「振込振替の個別承認」で「都度指定する」が選択されている場合は、「※ 振込振替の個別承認する / しない」より選択してください。

参考

通信終了後、受信結果を自動的に印刷する場合には、「残高照会結果を自動印刷する」「資金移動結果を自動印刷する」にチェックを付けてください。

参考

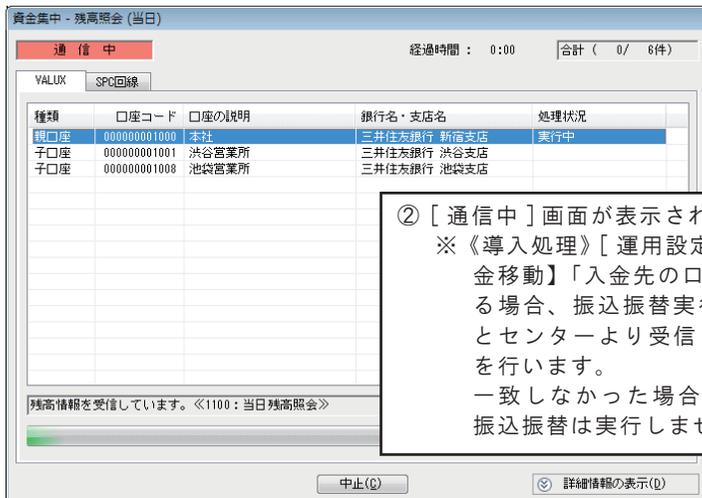
《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]メニューで「振込振替暗証番号」を「都度入力」に設定している口座が存在する場合、[通信開始]ボタンをクリック時に、「振込振替暗証番号入力」画面が表示されます。契約銀行へ届け出た振込振替暗証番号を入力し、[実行]ボタンをクリックします。



② [通信中]画面が表示され、資金集中処理が実行されます。

※《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「入金先の口座照合」で「する」が選択されている場合、振込振替実行時に、入金先口座のマスター情報とセンターより受信した情報が一致しているかチェックを行います。

一致しなかった場合、「エラー【口座照合】」と表示し、振込振替は実行しません。



資金集中 - 振込振替承認

出金口座 (子口座)
口座の説明: 000000001001 渋谷営業所
口座情報: 三井住友銀行 渋谷支店 普通 1234567

入金先口座 (親口座)
口座の説明: 000000001000 本社
入金先名: 物産デパート
口座情報: ミナミビル ツツカ 普通預金 1234567
受取人番号: 001

振込振替情報
■受付番号: 0314-001
■振込金額: 580,000円 ■手数料: 200円

上記の内容で振込振替を行います。よろしいですか?
※ 必ず1秒待ってから自動的に次の口座へ進みます。(保留)状態となります。

はい(Y) いいえ(N) 保

③ [振込振替承認]画面が表示されますので、内容を確認してください。表示された内容に問題がなければ、[はい]をクリックしてください。
※ [保留]ボタンをクリックすると、後ほど再実行できます。
▶ 「操作要領編-10 ◆再実行する」参照
※ 通信方式もしくはお取引の金融機関によっては、承認暗証番号の入力が必要となる場合があります。

参考

[振込振替承認]画面が表示されない場合は、以下の内容をご確認ください。

- ◆ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「振込振替の個別承認」で「しない」が選択されている場合
- ◆ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「振込振替の個別承認」で「都度指定する」が選択されていて、[実行前設定]画面の「※ 振込振替の個別承認」で「しない」を選択した場合

資金集中

新規実行 | 実行前 | 残高照会結果 | 資金移動結果

パターン名: 首都圏 移動用 | 資金集中条件名: 売上金回収

親口座の説明: 00000001000 本社 | 親口座情報: (0009)三井住友銀行 (221)新宿支店 | 普通預金 1234567 | [1/1]

残高基準: 当日残高を基準にする | 振込振替指定日: 指定する

子口座の説明	移動前基準残高	集中金額	移動後予想残高	処理状況
00000001001 渋谷営業所	9,705,000	9,505,000	200,000	完了
三井住友銀行 渋谷支店	0314-001	200	200	完了
00000001008 有楽町営業所	9,905,000	9,755,000	150,000	完了
いはり銀行 銀座支店	0314-001	200	200	完了
00000001007 原宿営業所	500,000			エラー【振込暗証】
A B C銀行 新宿支店	普通 1234567			
00000001008 池袋営業所	9,705,000			
三井住友銀行 池袋支店	普通 1234567	0314-001		
00000001009 東京多摩工場	9,905,000			
いはり銀行 多摩支店	普通 1234567	0314-001		
【合計金額】		39,720,000		

完了待放 | 実行中待放 | 対象外待放

表示対象口座: 選択済のみ 資金移動完了のみ エラーのみ 全て

F1 操作説明 | F2 印刷 | F3 1行表示 | F7 表示設定 | F8 詳細 | F12 閉じる

④ 通信が完了すると、[資金移動結果]画面が表示されますので、資金集中結果を確認してください。

参考

処理状況が「エラー【〇〇〇】」・「未処理」の場合、[詳細](F8)キーを押すと、エラー内容を確認することができます。

参考

[印刷](F2)キーを押すと[印刷]画面が表示されます。結果を印刷する場合は[印刷]ボタンをクリックしてください。プリンタの設定を変更する場合は[設定]ボタンを、印刷内容を事前に確認する場合は[プレビュー]ボタンをクリックします。

第1章 資金移動

資金集中 / 資金配分 / 残高調整 (4)

◆ 再実行する

通信エラーや銀行受付時間外のため処理が完了しなかった取引について、再度資金移動を実行します。



参考

[履歴選択]画面の状態が「実行前」・「照会中」・「照会済」・「振込中」・「振込中(要確認)」の場合、再実行できます。
※ 状態が「振込済」「処理済」の履歴は選択できません。

資金集中 - 履歴選択

処理日時	パターン名	条件名	状態	完了	実行中	対象外
2011/12/08 17:58	首都圏 移動用	売上金回収	振込中	3件	1件	1件
2011/12/08 17:41	関西地区 移動用	売上金回収	振込中	1件	3件	0件
2011/12/08 17:13	首都圏 移動用	売上金回収	振込済	5件	0件	0件
2011/10/18 9:48	全国 移動用	売上金回収	振込済	23件	0件	0件
2011/10/18 9:45	九州地区 移動用	売上金回収	振込済	3件	0件	0件
2011/10/18 9:44	関西地区 移動用	売上金回収	振込済	4件	0件	0件
2011/10/18 9:41	首都圏 移動用	売上金回収	振込済	5件	0件	0件

① [履歴選択]画面で、再実行する資金集中結果を選択して [再実行] ボタンをクリックします。

資金集中

再実行

実行前 | 残高照会結果 | 資金移動結果

パターン名 首都圏 移動用 資金集中条件名 売上金回収

親口座の説明 000000001000 本社

親口座情報 (0009)三井住友銀行 (221)新宿支店 普通預金 1234567 [1/1]

残高基準 当日残高を基準にする 振込振替指定日 指定する

親 移動前基準残高 9,750,000
集中金額 19,270,000
親 移動後予想残高 29,020,000

本社 (5件)

子口座の説明	移動前基準残高	集中金額	移動後予想残高	処理状況
子口座情報	受付番号	手数料		
000000001001 渋谷営業所	9,705,000	9,505,000	200,000	
三井住友銀行 渋谷支店	0314-001	200		完了
000000001006 有楽町営業所	9,905,000	9,755,000	150,000	
いはり銀行 銀座支店	普通 1234567	0314-001	200	完了
000000001007 原宿営業所	500,000			エラー【振込暗証】
A B C銀行 新宿支店	普通 1234567			
000000001008 池袋営業所	9,705,000			承認時取消
三井住友銀行 池袋支店	普通 1234567	0314-001		
000000001009 東京多摩工場	9,905,000	10,000	9,895,000	
いはり銀行 多摩支店	普通 1234567	0314-001	200	完了
【合計金額】	39,720,000	19,270,000	20,450,000	

完了件数 3件 | 実行中件数 1件 | 対象外件数 1件

表示対象口座 選択済のみ 資金移動完了のみ エラーのみ 全て

実行(E)

F1 操作説明 | F2 印刷 | F3 1行表示 | F4 | F5 | F6 | F7 表示設定 | F8 詳細 | F9 | F10 戻る | F11 | F12 閉じる

② 画面に表示された内容を確認して [実行] ボタンをクリックします。

資金移動

照会
振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他



参考

- ◆ 処理状況が「エラー【〇〇〇】」・「未処理」の場合
[詳細](F8)キーを押すと、エラー内容を確認できます。
- ◆ 処理状況が「エラー【要確認】」の口座が存在する場合
[実行前設定]画面で「エラー【要確認】の口座は実行対象外とする」チェックボックスが表示されます。実行対象から外す場合は、チェックを付けたままにします。



注意

[実行前設定]画面で「エラー【要確認】の口座は実行対象外とする」チェックを外して[通信開始]ボタンをクリックした場合、再実行できますが、前回の通信時に振込振替依頼が成立していた場合、二重振込になる可能性があります。
必ず、《日常処理》[資金移動結果照会]メニュー等で正しく受け付けられているか確認してください。

※ 以降の流れは、「[操作要領編 -8 ◆ 通信を実行する](#)」をご参照ください。



参考

《各種管理》[タイマー設定]メニューについて

[タイマー設定]メニューであらかじめ資金集中、資金配分、残高調整を実行する日時を設定しておくことで、自動的に資金移動を行うことができます。
設定方法については、「[操作要領編 -50 タイマー設定](#)」をご参照ください。

※ 通信を行うコンピュータが起動し、Windowsにログオンしている必要があります。

第1章

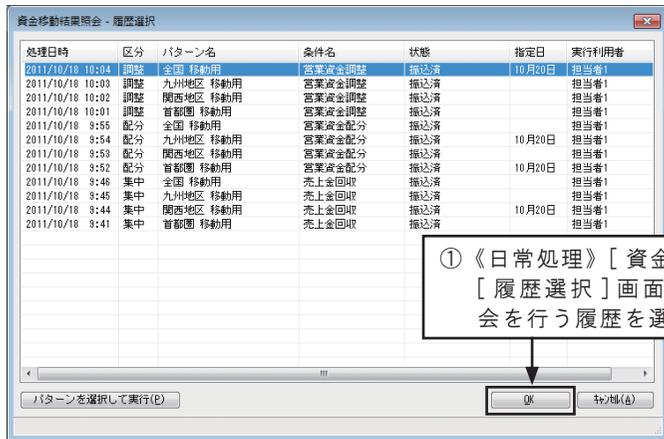
資金移動

資金移動結果照会(1)

資金移動結果照会の流れ

資金移動結果照会は、《日常処理》[資金集中]/[資金配分]/[残高調整]/[資金移動予約取消]メニューで資金移動を行った振込振替の受付状況の確認を行います。
また、資金移動パターン単位で資金移動の受付状況を確認できます。

◆ 履歴を選択して通信(資金移動結果照会)を実行する場合



① 《日常処理》[資金移動結果照会]メニューを選択します。
[履歴選択]画面が表示されますので、資金移動結果照会を行う履歴を選択して[OK]ボタンをクリックします。



② [明細確認]画面が表示されますので、資金移動結果照会を行う明細にチェックをつけて、[実行]ボタンをクリックします。

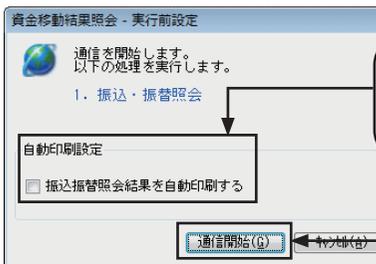
資金移動

照会
振込振替

ファイル入出力

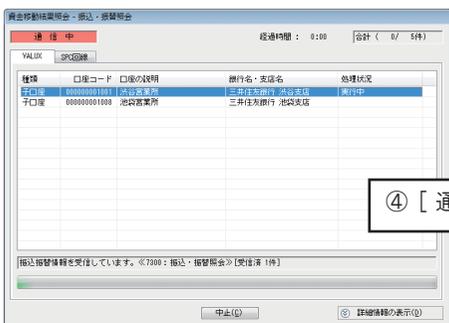
バックアップ
と復元

その他



参考
通信終了後、受信結果を自動的に印刷する場合には、「振込振替照会結果を自動印刷する」にチェックを付けてください。

③ [実行前設定]画面が表示されますので、[通信開始]ボタンをクリックします。



④ [通信中]画面が表示され、資金移動結果照会が実行されます。



⑤ 通信が完了すると、「振込振替照会結果」画面が表示されますので、照会結果を確認してください。

参考
[印刷](F2)キーを押すと[印刷]画面が表示されます。結果を印刷する場合は[印刷]ボタンをクリックしてください。プリンタの設定を変更する場合は[設定]ボタンを、印刷内容を事前に確認する場合は[プレビュー]ボタンをクリックします。

参考
処理状況が「エラー【〇〇〇】」・「未処理」の場合、[詳細](F8)キーを押すと、エラー内容を確認することができます。

◆ パターンを選択して通信 (資金移動結果照会) を実行する場合

資金移動

資金移動結果照会 - 履歴選択

処理日時	区分	パターン名	条件名	状態	指定日	実行利用者
2011/10/18 10:04	調整	全国 移動用	営業資金調整	振込済	10月20日	担当番1
2011/10/18 10:03	調整	九州地区 移動用	営業資金調整	振込済		担当番1
2011/10/18 10:02	調整	関西地区 移動用	営業資金調整	振込済		担当番1
2011/10/18 10:01	調整	首都圏 移動用	営業資金調整	振込済		担当番1
2011/10/18 9:55	配分	全国 移動用	営業資金配分	振込済		担当番1
2011/10/18 9:54	配分	九州地区 移動用	営業資金配分	振込済	10月20日	担当番1
2011/10/18 9:53	配分	関西地区 移動用	営業資金配分	振込済		担当番1
2011/10/18 9:52	配分	首都圏 移動用	営業資金配分	振込済	10月20日	担当番1
2011/10/18 8:48	集申	全国 移動用	売上金回収	振込済		担当番1
2011/10/18 8:45	集申	九州地区 移動用	売上金回収	振込済		担当番1
2011/10/18 8:44	集申	関西地区 移動用	売上金回収	振込済	10月20日	担当番1
2011/10/18 8:44	集申	首都圏 移動用	売上金回収	振込済		担当番1

① 《日常処理》[資金移動結果照会]メニューを選択します。
[履歴選択]画面が表示されますので、[パターンを選択して実行]ボタンをクリックします。

パターンを選択して実行(D)

資金移動結果照会 - パターン選択

コード	パターン名	親口座	子口座
001	首都圏 移動用	1件	5件
002	関西地区 移動用	1件	4件
003	九州地区 移動用	1件	3件
004	全国 移動用	1件	23件

② [パターン選択]画面が表示されますので、パターン名を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

一覧から選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



参考

受付番号を入力して[全複写]ボタンをクリックすると、全口座の受付番号に複写できます。また、口座ごとに受付番号を入力することもできます。

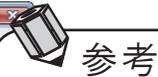
資金移動結果照会 - 口座選択

パターン名: 首都圏 移動用

受付番号: 0314 - 001 ~ 999

種類	口座コード	口座の説明	口座番号・加入者番号	受付番号 (日付)	受付番号 (開始)	受付番号 (終了)
<input checked="" type="checkbox"/>	000000001000	本社	普通 1234567	0314	001	999
<input checked="" type="checkbox"/>	000000001001	渋谷営業所	普通 1234567	0314	001	999
<input checked="" type="checkbox"/>	000000001008	有楽町営業所	普通 1234567	0314	001	999
<input checked="" type="checkbox"/>	000000001007	原宿営業所	普通 1234567	0314	001	999
<input checked="" type="checkbox"/>	000000001008	池袋営業所	普通 1234567	0314	001	999
<input checked="" type="checkbox"/>	000000001009	東京多摩工場	普通 1234567	0314	001	999

③ [口座選択]画面が表示されます。資金移動結果照会を行う口座に受付番号を入力後、チェックを付けてから[OK]ボタンをクリックします。



参考

通信終了後、受信結果を自動的に印刷する場合には、「振込振替照会結果を自動印刷する」にチェックを付けてください。

資金移動結果照会 - 実行前設定

通信を開始します。以下の処理を実行します。

1. 振込・振替照会

自動印刷設定

振込振替照会結果を自動印刷する

通信開始(D)

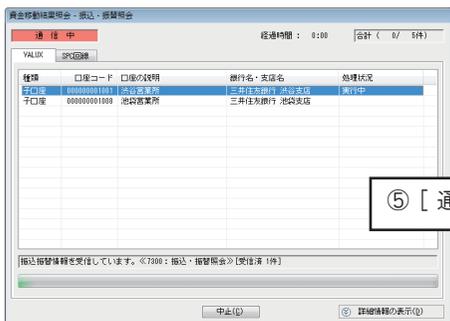
④ [実行前設定]画面が表示されますので、[通信開始]ボタンをクリックします。

照会 / 振込振替

ファイル入出力

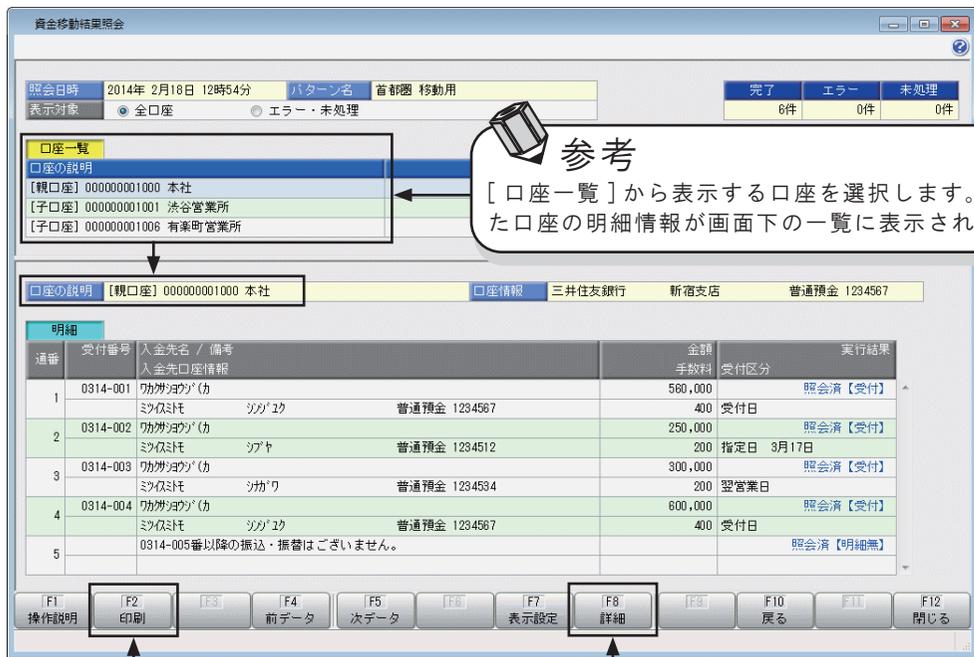
バックアップと復元

その他



⑤ [通信中]画面が表示され、資金移動結果照会が実行されます。

⑥ 通信が完了すると、[資金移動結果照会]画面が表示されますので、照会結果を確認してください。



参考
[口座一覧]から表示する口座を選択します。選択された口座の明細情報が画面下の一覧に表示されます。

参考
処理状況が「エラー【〇〇〇】」・「未処理」の場合、[詳細] (F8) キーを押すと、エラー内容を確認することができます。

参考
[印刷](F2)キーを押すと、[印刷]画面が表示されます。結果を印刷する場合は[印刷]ボタンをクリックしてください。現在表示している口座のみ印刷するか選択できます。

第1章

資金移動

資金移動予約取消 (1)

資金移動予約取消の流れ

資金移動予約取消は、[資金集中]/[資金配分]/[残高調整]メニューで予約の資金移動を行った振込振替の依頼内容の取消を行います。

① [履歴選択]画面で、資金移動予約取消を行う履歴を選択して[OK]ボタンをクリックします。

② [明細確認]画面が表示されますので、取消を行う明細にチェックをつけて、[実行]ボタンをクリックします。

資金移動

振込振替
照会

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

資金移動予約取消 - 実行前設定

通信を開始します。
以下の処理を実行します。

1. 振込・振替取消

※ 振込振替の個別承認：する

自動印刷設定

振込振替取消結果を自動印刷する

通信開始(G) ← 実行(A)

③ [実行前設定]画面が表示されますので、[通信開始]ボタンをクリックします。
※《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「振込振替の個別承認」で「都度指定する」が選択されている場合、「※ 振込振替の個別承認する / しない」より選択してください。

参考
通信終了後、受信結果を自動的に印刷する場合には、「振込振替取消結果を自動印刷する」にチェックを付けてください。

参考

資金移動予約取消を行う際、《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]メニューで「振込振替暗証番号」を「都度入力」に設定している口座が存在する場合、[通信開始]ボタンクリック時に、[振込振替暗証番号入力]画面が表示されます。
契約銀行へ届け出た振込振替暗証番号を入力し、[実行]ボタンをクリックします。

資金移動予約取消 - 振込振替暗証番号入力

種類	口座の説明	振込振替暗証番号
子口座	000000001001 渋谷営業所	
子口座	000000001009 東京多摩工場	

実行(E) 中止(C)

資金移動予約取消 - 振込・振替取消

通信中

経過時間： 0:00 | 合計 (0 / 5件)

種類	口座コード	口座の説明	銀行名・支店名	処理状況
子口座	000000001001	渋谷営業所	三井住友銀行 渋谷支店	実行中
子口座	000000001008	池袋営業所	三井住友銀行 池袋支店	

振込振替情報を送信しています。<<7900:振込・振替取消>>[受信済 1件]

中止(C) 詳細情報の表示(D)

④ [通信中]画面が表示され、資金移動予約取消が実行されます。

資金移動予約取消(2)

資金移動

資金移動予約取消 - 取消承認

出金口座(子口座)
 口座の説明: 000000001001 渋谷営業所
 口座情報: 三井住友銀行 渋谷支店 普通 1234567

入金先口座(親口座)
 口座の説明: 000000001000 本社
 入金先名: 〇〇〇〇〇〇株式会社
 口座情報: 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 普通預金 1234567

振込振替情報
 ■受付番号: 0314-001 指定日
 ■振込金額: 580,000円 ■手数料: 200円

上記の内容の振込振替を取り消します。よろしいですか?
 ※あと168秒で自動実行に次の口座へ進みます。(「振替確認」状態となり)

⑤ [取消承認]画面が表示されますので、内容を確認してください。表示された内容に問題がなければ、[はい]をクリックしてください。
 ※ 通信方式もしくはお取引の金融機関によっては、承認暗証番号の入力が必要となる場合があります。

照会
振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

参考
 [取消承認]画面が表示されない場合は、以下の内容をご確認ください。
 ◆ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「振込振替の個別承認」で「しない」が選択されている場合
 ◆ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<資金移動>【資金移動】「振込振替の個別承認」で「都度指定する」が選択されていて、[実行前設定]画面の「※ 振込振替の個別承認」で「しない」を選択した場合

資金移動予約取消

詳細確認 | 振込振替取消結果

パターン名: 首都圏 移動用 | 資金集中案件名: 売上金回収

親口座の説明: 00000001000 本社
 親口座情報: (0009)三井住友銀行 (221)新宿支店 普通預金 1234567 [1/1]

残高基準: 当日残高を基準にする | 振込振替指定日: 指定する

本社 (5件)

子口座の説明	移動前基準残高	集中金額	移動後予想残高	処理状況
子口座情報	受付番号	受付区分		
000000001001 渋谷営業所	9,700,000			取消済
三井住友銀行 渋谷支店 普通 1234567	0314-001	取消		取消済
000000001006 有楽町営業所	9,800,000			取消済
いろは銀行 銀座支店 普通 1234567	0314-001	取消		取消済
000000001007 原宿営業所	500,000			取消済
A B C銀行 新宿支店 普通 1234567	0314-001	取消		取消済
000000001008 池袋営業所	9,800,000			取消済
三井住友銀行 池袋支店 普通 1234567	0314-001	取消		取消済
000000001009 東京多摩工場	9,900,000			取消済
いろは銀行 多摩支店 普通 1234567				取消済

選択案件数: 5件 | 対象外件数: 0件

表示対象: 選択口座のみ エラー口座のみ 全口座

F1 操作説明 | F2 印刷 | F3 1行表示 | F4 | F5 | F6 | F7 表示設定 | F8 詳細 | F9 | F10 | F11 | F12 閉じる

⑥ 通信が完了すると、[振込振替取消結果]画面が表示されますので、取消結果を確認してください。

参考
 処理状況が「エラー【〇〇〇】」・「未処理」の場合、[詳細](F8)キーを押すと、エラー内容を確認することができます。

参考
 [印刷](F2)キーを押すと[印刷]画面が表示されます。結果を印刷する場合は[印刷]ボタンをクリックしてください。プリンタの設定を変更する場合は[設定]ボタンを、印刷内容を事前に確認する場合は[プレビュー]ボタンをクリックします。

照会
振込
振替

ファイル
入出力

バックアップ
と復元

その他

第1章

資金移動
資金移動結果サマリー表

資金移動結果サマリー表の流れ

資金移動結果サマリー表は、[資金集中]/[資金配分]/[残高調整]/[資金移動予約取消]メニューで資金移動を行った結果を、資金移動パターン及び資金移動実行日（通信を実行した日付）単位にまとめて印刷するメニューです。



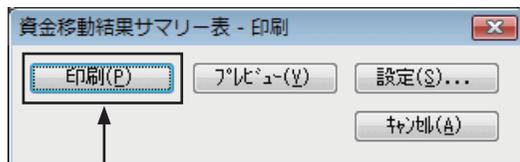
参考

資金移動を同じ日に同じパターンで複数回実行した場合、その実行結果をまとめて印刷することができます。なお、資金移動を実行した口座のみ印刷対象となり、実行対象外や残高照会のみ実行した口座の結果は対象となりません。

① 《日常処理》[資金移動結果サマリー表]メニューを選択します。



② [資金移動結果サマリー表]画面で、印刷するパターン名と資金移動実行日（通信を実行した日付）を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



③ [資金移動結果サマリー表 - 印刷]画面が表示されますので、資金移動結果サマリー表を印刷する場合は[印刷]ボタンをクリックしてください。プリンタの設定を変更する場合は[設定]ボタンを、印刷内容を事前に確認する場合は[プレビュー]ボタンをクリックします。

資金移動

照会
振込振替ファイル
入出力バック
アップ
と復元

その他

④ [印刷] ボタンをクリックすると、印刷処理が実行されます。

資金移動結果サマリー表

PAGE: 1
印刷日時 2014年 3月 14日 14時38分18秒

処理日付 2014年 3月 14日
 バターン名 首都圏 移動用
 親口座の説明 00000001000 本社
 親口座情報 (0009) 三井住友銀行 (221) 新宿支店 普通 1234567

通番	子口座の説明 子口座情報	区分	移動前基準残高	集中金額 手数料	配分金額 手数料	受付区分 受付番号	移動後予想残高 処理状況
1	00000001001 渋谷営業所 (0009) 三井住友銀行 (654) 渋谷支店	普通 1234567	集中	9,705,000	9,505,000 200	指定日 3/17 0314-001	200,000 完了
2	00000001001 渋谷営業所 (0009) 三井住友銀行 (654) 渋谷支店	普通 1234567	配分	9,705,000	45,000 200	受付日 0314-001	9,750,000 完了
3	00000001001 渋谷営業所 (0009) 三井住友銀行 (654) 渋谷支店	普通 1234567	集中	9,705,000	9,505,000 200	受付日 0314-001	200,000 完了
【 小 計 】				19,010,000	45,000		
4	00000001006 有楽町営業所 (0003) いろは銀行 (002) 銀座支店	普通 1234567	配分	9,905,000	95,000 200	受付日 0314-001	10,000,000 完了
5	00000001006 有楽町営業所 (0003) いろは銀行 (002) 銀座支店	普通 1234567	集中	9,905,000	9,755,000 200	受付日 0314-001	150,000 完了
【 小 計 】				9,755,000	95,000		
6	00000001007 原宿営業所 (0002) A B C 銀行 (002) 新宿支店	普通 1234567	配分	500,000	50,000 200	受付日 0314-001	550,000 完了
7	00000001007 原宿営業所 (0002) A B C 銀行 (002) 新宿支店	普通 1234567	集中	500,000			500,000 エラー【振込暗証】
【 小 計 】				0	50,000		
8	00000001008 池袋営業所 (0009) 三井住友銀行 (225) 池袋支店	普通 1234567	配分	9,705,000	145,000 200	受付日 0314-001	9,850,000 完了
9	00000001008 池袋営業所 (0009) 三井住友銀行 (225) 池袋支店	普通 1234567	集中	9,705,000		受付日 0314-001	9,705,000 承認時取消
【 小 計 】				0	145,000		
10	00000001009 東京多摩工場 (0003) いろは銀行 (004) 多摩支店	普通 1234567	配分	9,905,000	45,000 200	受付日 0314-001	9,950,000 完了
11	00000001009 東京多摩工場 (0003) いろは銀行 (004) 多摩支店	普通 1234567	集中	9,905,000	10,000 200	受付日 0314-001	9,895,000 完了
【 小 計 】				10,000	45,000		
【 合計金額 】				28,775,000	380,000		



参考

予約の資金移動を行った口座は、受付区分に「指定日」が印字されます。

第2章 照会 / 振込振替

残高照会 / 振込入金照会 / 入出金明細照会 (1)

照会の流れ

各サービス画面より残高や入出金明細を照会します。

① 《日常処理》[残高照会]/[振込入金照会]/[入出金明細照会]メニューを選択します。
[パターン選択]画面が表示されますので、「通信対象口座」で「パターン指定」を選択し、リストよりパターン名を選択して、[通信開始]ボタンをクリックします。

参考
通信終了後、受信結果を自動的に印刷する場合には、「受信結果を自動印刷する」にチェックを付けてください。

参考

《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【全般】「グループ」を「使用する」にし、グループにパターンを所属させている場合、[パターン選択]画面で、グループごとにパターンを表示することができます。

参考

「通信対象口座」で「パターン指定」以外を選択した場合

- ◆ 「パターン指定 (口座抽出する)」
選択したパターンに属する口座の一覧が表示されますので、照会する口座を選択し、[通信開始]ボタンをクリックします。サービスコード「2700：入出金明細照会 (日付あり)」の通信を行う場合は、「日付を指定する」にチェックを付け、日付を入力します。
- ◆ 「全口座から抽出する (サービスコードを指定した照会はこちら)」
《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]/[通知預金口座登録]メニューで登録したすべての口座が表示されますので、照会する口座を選択し、[OK]ボタンをクリックします。[サービス選択]画面が表示されますので、照会するサービスコードを選択し、[通信開始]ボタンをクリックします。

残高照会

通信中 経過時間 : 0:00 合計 (0 / 6件)

種類	口座コード	口座の説明	銀行名・支店名	処理状況
親口座	000000001000	本社	三井住友銀行 新宿支店	実行中
子口座	000000001001	渋谷営業所	三井住友銀行 渋谷支店	
子口座	000000001008	池袋営業所	三井住友銀行 池袋支店	

残高情報を受信しています。 <<1100:当日残高照会>> [受信済 1件]

中止(O) 詳細情報の表示(O)

② [通信中]画面が表示され、照会処理が実行されます。



参考

《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]/[通知預金口座登録]メニューで「照会用暗証番号」を登録していない口座を通信対象として選択した場合、[通信開始]ボタンクリック時に、照会用暗証番号を登録していない口座を除外して通信を実行する旨のメッセージが表示されます。このままその他の口座の照会処理を行う場合は、[OK]ボタン、「照会用暗証番号」を登録してから再度照会を行う場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

残高照会

000000001001 渋谷営業所
の照会用暗証番号が登録されていません。

上記口座を除いて、処理を続けますか？

OK キャンセル

※「照会用暗証番号」を登録する場合

[親口座登録]/[子口座登録]/[通知預金口座登録]メニューの[暗証番号登録]画面で契約銀行へ届け出た4桁の照会用暗証番号を登録します。

第2章 照会 / 振込振替

残高照会 / 振込入金照会 / 入出金明細照会 (2)

資金移動

振込振替
照会

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

[残高照会] 画面

③ 受信が完了すると、[残高照会]/[振込入金照会]/[入出金明細照会] 画面が表示されますので、照会結果を確認してください。

参考
[印刷](F2)キーを押すと[印刷]画面が表示されます。結果を印刷する場合は[印刷]ボタンをクリックしてください。プリンタの設定を変更する場合は[設定]ボタンを、印刷内容を事前に確認する場合は[プレビュー]ボタンをクリックします。

[振込入金照会]/[入出金明細照会] 画面

参考
[口座一覧]から表示する口座を選択します。選択された口座の明細情報が画面下の一覧に表示されます。

参考
[印刷](F2)キーを押すと、[印刷]画面が表示されます。結果を印刷する場合は[印刷]ボタンをクリックしてください。現在表示している口座のみ印刷するか選択できます。

参考

- ◆ 処理状況が「エラー【〇〇〇】」・「未処理」の場合
[詳細](F8)キーを押すと、エラー内容を確認することができます。
- ◆ 過去に行った照会履歴を確認する場合
[パターン選択]画面で[履歴参照]ボタンをクリックすると、[履歴選択]画面が表示されます。確認する照会結果を選択して、[履歴参照]ボタンをクリックすると、照会内容を確認することができます。
※ 照会結果は、《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<共通設定>【全般】「結果履歴保有数」で設定した保有数分保持します。保有数を超えた場合、日付の古い履歴から順に削除されます。▶「導入編-30 運用設定」参照

[振込入金照会]/[入出金明細照会]メニューの[履歴選択]画面では履歴の表示方法を「受信単位」と「口座単位」から選択します。「口座単位」を選択した場合、口座や日付などの条件を指定して、表示する明細を絞り込むことができます。

処理日時	パターン名	サービス名	完了	エラー	未処理	実行時刻
2011/12/28 18:45	現金 口座出		21件	0件	0件	2011/12/28 18:45
2011/12/28 18:45		当日持出照会	0件	0件	0件	2011/12/28 18:45
2011/12/28 18:30	貸借対当表		0件	0件	0件	2011/12/28 18:30
2011/12/28 18:12	貸借対当表照会		0件	0件	0件	2011/12/28 18:12
2011/12/18 18:10		当日持出照会	25件	0件	0件	2011/12/18 18:10

参考

《各種管理》[タイマー設定]メニューについて

[タイマー設定]メニューであらかじめ残高照会、振込入金照会、入出金明細照会を実行する日時を設定しておくことで、自動的に照会を行うことができます。設定方法については、「操作要領編-50 タイマー設定」をご参照ください。

※ 通信を行うコンピュータが起動し、Windowsにログオンしている必要があります。

第2章

照会 / 振込振替
振込振替(個別依頼)(1)

振込振替(個別依頼)の流れ

出金口座から、入金先に対して個別に振込振替を行います。また通知預金への預入、通知預金解約につきましては、こちらのメニューからご操作ください。

振込振替(個別依頼) - 履歴選択

処理日時	種類	口座コード	口座の説明	状態	完了	実行中	対
2011/12/08 17:05	親口座	000000001000	本社	振込済	1件	0件	
2011/12/08 17:04	子口座	000000001010	八王子営業所	振込中	0件	1件	
2011/12/08 17:03	子口座	000000001006	有楽町営業所	振込済	1件	0件	
2011/12/08 16:52	子口座	000000001022	浦和営業所	振込済	1件	0件	
2011/10/18 10:21	子口座	000000001001	渋谷営業所	振込済	1件	0件	

① 《日常処理》[振込振替(個別依頼)]メニューを選択します。
[履歴選択]画面が表示されますので、[新規実行(N)]
をクリックします。

削除(D) **新規実行(N)** 再実行(R) 履歴参照(C) キャンセル(A)

振込振替(個別依頼) - 口座選択

口座コード検索

以降 検索(F)

種類	口座コード	口座の説明	銀行名	支店名	口座番号・加
親口座	000000001000	本社	三井住友銀行	新宿支店	普通 1234567
子口座	000000001001	渋谷営業所	三井住友銀行	渋谷支店	普通 1234567
子口座	000000001002	大阪支社	A B C銀行	大阪支店	普通 1234567
子口座	000000001003	名古屋支社	いろは銀行	名古屋支店	普通 1234567
子口座	000000001004	札幌支社	三井住友銀行	札幌支店	普通 1234567
子口座	000000001005	青山営業所	三井住友銀行	青山支店	普通 1234567
子口座	000000001006	有楽町営業所	いろは銀行	銀座支店	普通 1234567
子口座	000000001007	原宿営業所	A B C銀行	新宿支店	普通 1234567
子口座	000000001008	池袋営業所	三井住友銀行	池袋支店	普通 1234567
子口座	000000001009	東京多摩工場	いろは銀行	多摩支店	普通 1234567
子口座	000000001010	八王子営業所	三井住友銀行	八王子支店	普通 1234567
子口座	000000001011	福田営業所	三井住友銀行	福田支店	普通 1234567
子口座	000000001012	広島営業所	三井住友銀行	広島支店	普通 1234567
子口座	000000001013	新宿営業所	A B C銀行	渋谷支店	普通 1234567
子口座	000000001014	新潟営業所	三井住友銀行	新潟支店	普通 1234567
子口座	000000001015	尼崎営業所	三井住友銀行	尼崎支店	普通 1234567

② [口座選択]画面が表示されますので、出金口座(振込元の口座)
を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

OK キャンセル(A)

振込振替(個別依頼) - サービス選択

サービスコード 7100:振込・振替(登録方式)

指定日 月 日 加減(C)...

OK キャンセル(A)

③ [サービス選択]画面が表示されますので、サー
ビスコードを選択し、[OK]ボタンをクリックし
ます。

資金移動

照会
振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

④ [実行前]画面が表示されますので、入金先を指定し、金額等を入力します。入力後は、[実行]ボタンをクリックします。

参考

[検索](F8)キーを押すと、《導入処理》[資金移動パターン登録]/[通知預金口座登録]メニューで登録した受取人番号を選択することができます。
 上記メニューで登録していない受取人番号を直接入力した場合、「入金先口座の説明」に「※ 該当口座なし」と表示されます。
 ※ サービスコード「8600:振込・振替(都度指定方式)」の場合は、《導入処理》[入金先登録(都度指定)]メニューで登録した入金先を選択することができます。

⑤ [実行前設定]画面が表示されますので、[通信開始]ボタンをクリックして通信処理を開始します。
 ※ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替(個別依頼 / 照会 / 取消)】「振込振替の個別承認」で「都度指定する」が選択されている場合、「※ 振込振替の個別承認する / しない」より選択してください。

参考

振込振替結果を自動的に印刷する場合には、「振込振替結果を自動印刷する」にチェックを付けてください。

資金移動

照会 / 振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他



参考

以下の場合、[通信開始] ボタンクリック時に、[振込振替暗証番号入力]画面が表示されます。

- ◆ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替（個別依頼 / 照会 / 取消）】「振込振替暗証番号の入力」で「都度入力」が選択されている場合
- ◆ 《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]/[通知預金口座登録]メニューで出金口座の「振込振替暗証番号」の登録方式が「都度入力」の場合



契約銀行へ届け出た振込振替暗証番号を入力します。



⑥ [通信中]画面が表示され、振込振替処理が実行されます。

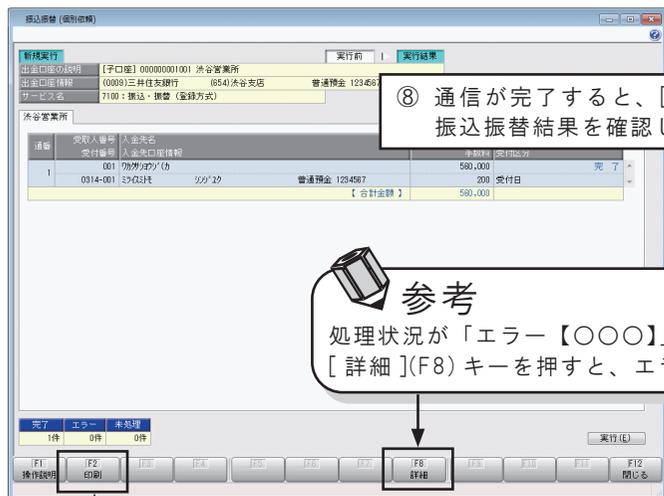


- ⑦ [振込振替承認]画面が表示されますので、内容を確認してください。表示された内容に問題がなければ、[はい]をクリックしてください。
- ※ 通信方式もしくはお取引の銀行によっては、承認暗証番号の入力が必要となる場合があります。



参考

- ◆ サービスコード「8600：振込・振替（都度指定方式）」の場合は、確認暗証番号の入力が必要となります。
- ◆ [振込振替承認]画面が表示されない場合は、以下の内容をご確認ください。
 - ・ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替（個別依頼 / 照会 / 取消）】「振込振替の個別承認」で「しない」が選択されている場合
 - ・ 《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替（個別依頼 / 照会 / 取消）】「振込振替の個別承認」で「都度指定する」が選択されていて、[実行前設定]画面の「※ 振込振替の個別承認」で「しない」を選択した場合



⑧ 通信が完了すると、[実行結果]画面が表示されますので、振込振替結果を確認してください。

参考

処理状況が「エラー【〇〇〇】」・「未処理」の場合
[詳細] (F8) キーを押すと、エラー内容を確認することができます。

参考

[印刷] (F2) キーを押すと [印刷] 画面が表示されます。結果を印刷する場合は [印刷] ボタンをクリックしてください。プリンタの設定を変更する場合は [設定] ボタンを、印刷内容を事前に確認する場合は [プレビュー] ボタンをクリックします。

参考

- ◆ 振込振替の「再実行」について
[履歴選択] 画面で、処理結果が「振込中」「振込中 (要確認)」と表示されている場合は、再実行の対象となります。再実行を行う場合は、[履歴選択] 画面で、再実行対象の振込振替履歴を選択し、[再実行] ボタンをクリックします。
- ◆ 処理状況が「エラー【要確認】」の場合
[実行前設定] 画面で「エラー【要確認】」の口座は実行対象外とする」チェックボックスが表示されます。実行対象から外す場合は、チェックを付けたままにします。
- ◆ 過去に行った振込振替履歴を確認する場合
[履歴選択] 画面で振込振替結果を選択して、[履歴参照] ボタンをクリックします。
※ 振込振替結果は、《導入処理》[運用設定] メニューのタブ<共通設定>【全般】「結果履歴保有数」で設定した保有数分保持します。保有数を超えた場合、日付の古い履歴から順に削除されます。
▶「導入編 -30 運用設定」参照

注意

[実行前設定] 画面で「エラー【要確認】」の口座は実行対象外とする」チェックを外して [通信開始] ボタンをクリックした場合、再実行できますが、前回の通信時に振込振替依頼が成立していた場合、二重振込になる可能性があります。
必ず、《日常処理》[振込振替 (結果照会)] メニューで正しく受け付けられているか確認してください。

第2章

照会 / 振込振替
振込振替(複数依頼)(1)

資金移動

振込振替(複数依頼)の概要

出金口座・入金先口座の組み合わせを複数登録し、振込振替を行います。
また、履歴選択画面より一度実行した組み合わせを複製して実行することもできます。
振込振替のサービスは、登録方式・都度指定方式、どちらのサービスも指定することができます。
複数依頼したデータを結果照会または取消する場合は、個別に照会(または取消)する必要があります。

振込振替指定日を設定する場合は、サービスコード「7600:振込・振替(登録方式・日付指定)」、「8600:振込・振替(都度指定方式)」の振込振替を行います。
振込振替指定日を設定しない場合は、サービスコード「7100:振込・振替(登録方式)」の振込振替を行います。
通信実行時に振込振替指定日を指定するため、「7100:振込・振替(登録方式)」と「7600:振込・振替(登録方式・日付指定)」「8600:振込・振替(都度指定方式)」は同時に実行できません。

振込振替(複数依頼)の流れ

出金口座から入金先口座に対して、一括で振込振替を行います。

処理日時	振込振替の説明	状態	完了	実行中	対象外	指定日	実行利用者
2017/05/08 16:40	九州移動用	実行前	0件	0件	1件		管理者
2017/05/08 16:40	関東圏移動用	実行前	0件	0件	1件		管理者
2017/05/08 16:39	首都圏移動	振込中	0件	3件	0件	5月8日	管理者
2017/04/26 18:30	九州移動用	振込済	1件	0件	0件		管理者
2017/04/26 18:30	関東圏移動用	振込済	1件	0件	0件		管理者
2017/04/26 18:28	首都圏移動	振込済	2件	0件	0件	5月1日	管理者
2017/04/26 18:26	首都圏移動	振込済	1件	0件	0件		管理者
2017/04/26 18:25	首都圏移動	振込済	1件	0件	0件	5月1日	管理者

① 《日常処理》[振込振替(複数依頼)]メニューを選択します。
[履歴選択]画面が表示されますので、[新規実行]ボタンをクリックします。



参考

[複製して実行]ボタンをクリックすると、選択中の履歴を複製して依頼内容を入力することができます。

複製対象の振込振替結果より、以下の内容が複製されます。

- ・ 出金口座・入金先口座の組み合わせ
- ・ 振込振替の説明

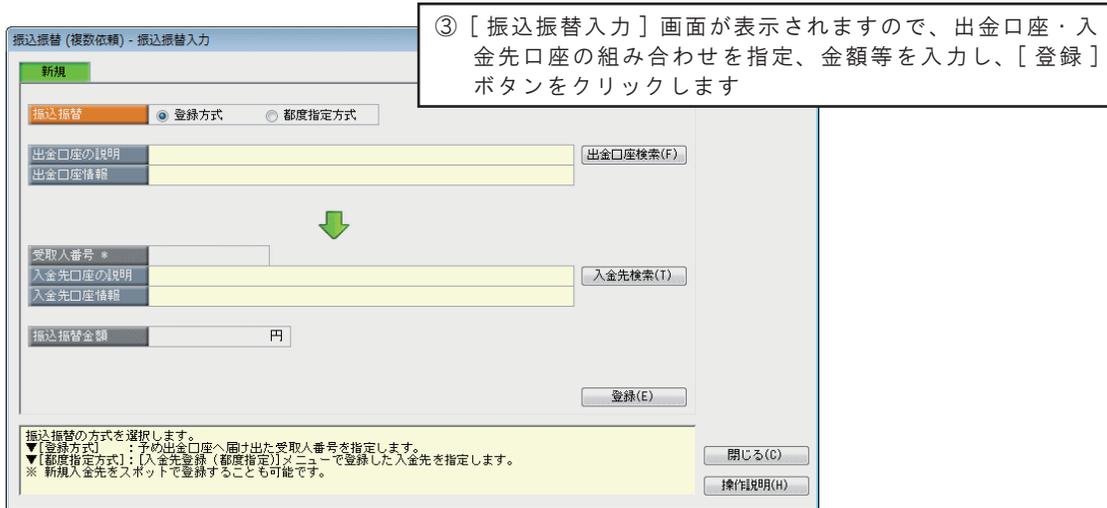
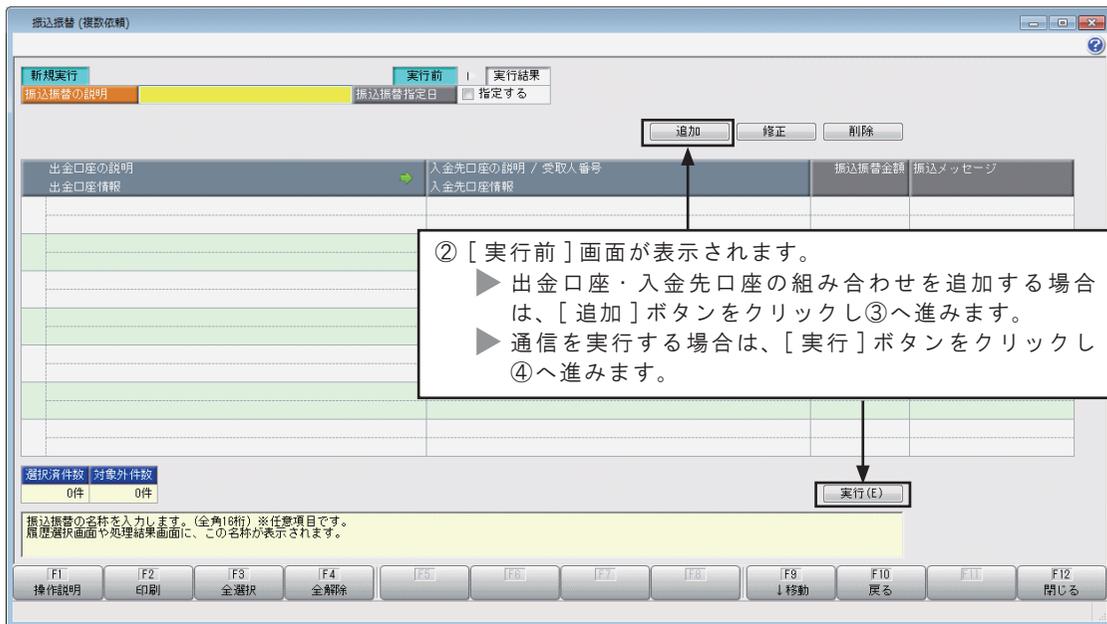
※ 振込振替金額や振込メッセージ/メモ、振込振替指定日は複製されません。

照会
振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他



参考

「振込振替」が「登録方式」の場合、[入金先検索] ボタンをクリックすると、《導入処理》[資金移動パターン登録] メニューで登録した受取人番号を選択することができます。

上記メニューで登録していない受取人番号を直接入力した場合、「入金先口座の説明」に「※ 該当口座なし」と表示されます。

※ 「振込振替」が「都度指定方式」の場合は、《導入処理》[入金先登録(都度指定)] メニューで登録した入金先を選択することができます。

振込振替（複数依頼）- 実行前設定

通信を開始します。
以下の処理を実行します。

1. 振込・振替（登録方式 2月20日指定）
2. 振込・振替（都度指定方式 2月20日指定）

※ 振込振替の個別承認：する

自動印刷設定

振込振替結果を自動印刷する

通信開始(G) 印刷(A)

参考

振込振替結果を自動的に印刷する場合には、「振込振替結果を自動印刷する」にチェックを付けてください。

- ④ [実行前設定] 画面が表示されますので、[通信開始] ボタンをクリックして通信処理を開始します。
- ※ 《導入処理》[運用設定] メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替（複数依頼）】「振込振替の個別承認」で「都度指定する」が選択されている場合、「※ 振込振替の個別承認する / しない」より選択してください。

参考

《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]メニューで「振込振替暗証番号」を「都度入力」に設定している出金口座が存在する場合、[通信開始] ボタンクリック時に、[振込振替暗証番号入力] 画面が表示されます。

契約銀行へ届け出た振込振替暗証番号を入力し、[実行] ボタンをクリックします。

振込振替（複数依頼）- 振込振替暗証番号入力

種別	口座の説明	振込振替暗証番号
子口座	000000001001 渋谷営業所	

実行(E) 中止(C)

参考

《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替（複数依頼）】「確認暗証番号の入力」で「実行前入力」を選択している場合、[通信開始] ボタンクリック時に、[確認暗証番号入力] 画面が表示されます。

契約銀行へ届け出た確認暗証番号を入力し、[実行] ボタンをクリックします。

振込振替（複数依頼）- 確認暗証番号入力

種別	口座の説明	確認暗証番号
子口座	000000000001 渋谷営業所	

実行(E) 中止(C)

⑤ [通信中] 画面が表示され、振込振替処理が実行されます。

種類	口座コード	口座の説明	銀行名・支店名	処理状況
子口座	000000001001	渋谷営業所	三井住友銀行 渋谷支店	実行中
子口座	000000001005	青山営業所	三井住友銀行 青山支店	
親口座	000000001000	本社	三井住友銀行 新宿支店	

振込振替情報を送信しています。<<7800：振込・振替（登録方式・日付指定）>>

中止(C) 詳細情報の表示(D)

⑥ [振込振替承認] 画面が表示されますので、内容を確認してください。表示された内容に問題がなければ、[はい] をクリックしてください。

※ 通信方式もしくはお取引の銀行によっては、承認暗証番号の入力が必要となる場合があります。

振込振替 (複数依頼) - 振込振替承認

出金口座 (子口座)
 口座の説明: 000000001001 渋谷営業所
 口座情報: 三井住友銀行 渋谷支店 普通 1234567

入金先口座
 入金先名: 株式会社
 口座情報: 株式会社 普通預金 1234567
 受取人番号: 001

振込振替情報
 ■受付番号: 0314-001 指定日
 ■振込金額: 560,000円 ■手数料: 200円

上記の内容で振込振替を行います。よろしいですか?
 ※ あと159秒で自動的に次の口座へ進みます。([保留]状態となります。)

はい(Y) いいえ(N) 保留(H)



参考

- ◆ サービスコード「8600：振込・振替（都度指定方式）」の振込振替は、《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替（複数依頼）】「確認暗証番号の入力」で「都度入力」が選択されている場合、[振込振替承認]画面で確認暗証番号の入力が必要となります。
- ◆ [振込振替承認]画面が表示されない場合は、以下の内容をご確認ください。
 - ・《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替（複数依頼）】「振込振替の個別承認」で「しない」が選択されている場合
 - ・《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【振込振替（複数依頼）】「振込振替の個別承認」で「都度指定する」が選択されていて、[実行前設定]画面の「※ 振込振替の個別承認」で「しない」を選択した場合

⑧ 通信が完了すると、[実行結果] 画面が表示されますので、振込振替結果を確認してください。

振込振替の依頼	実行前	実行結果
振込振替の依頼	指定する	2月20日 指定
出金口座の説明	入金先名	振込振替金額
出金口座情報	入金先口座情報	手数料
【親口座】 000000001000 本社	【子口座】 000000001001 渋谷営業所	0314-001
(0009)三井住友銀行 (021)新宿支店	普通 1234567	200 受付日
【子口座】 000000001001 渋谷営業所	金銭 功券のり(付)妙加ナ(イ)	560,000 0314-001
(0009)三井住友銀行 (054)渋谷支店	普通 1234567	200 受付日
【子口座】 000000001007 原宿営業所	金銭 功券のり(付)	0314-001
(0002) (002)	普通 1234567	普通預金 1234567
【子口座】 000000001013 新宿営業所	金銭 功券のり(付)	560,000 0314-001
(0002) (003)	普通 1234567	200 受付日
普通預金 1234567	普通預金 1234567	

参考

処理状況が「エラー【〇〇〇】」・「未処理」の場合
[詳細] (F8) キーを押すと、エラー内容を確認することができます。

参考

[印刷] (F2) キーを押すと [印刷] 画面が表示されます。結果を印刷する場合は [印刷] ボタンをクリックしてください。プリンタの設定を変更する場合は [設定] ボタンを、印刷内容を事前に確認する場合は [プレビュー] ボタンをクリックします。

参考

- ◆ 振込振替の「再実行」について
[履歴選択] 画面で、処理結果が「実行前」「振込中」「振込中（要確認）」と表示されている場合は、再実行の対象となります。再実行を行う場合は、[履歴選択] 画面で、再実行対象の振込振替履歴を選択し、[再実行] ボタンをクリックします。
- ◆ 処理状況が「エラー【要確認】」の場合
[実行前設定] 画面で「エラー【要確認】の口座は実行対象外とする」チェックボックスが表示されます。実行対象から外す場合は、チェックを付けたままにします。
- ◆ 過去に行った振込振替履歴を確認する場合
[履歴選択] 画面で振込振替結果を選択して、[履歴参照] ボタンをクリックします。
※ 振込振替結果は、《導入処理》[運用設定] メニューのタブ<共通設定>【全般】「結果履歴保有数」で設定した保有数分保持します。保有数を超えた場合、日付の古い履歴から順に削除されます。
▶「導入編 -30 運用設定」参照

注意

[実行前設定] 画面で「エラー【要確認】の口座は実行対象外とする」チェックを外して [通信開始] ボタンをクリックした場合、再実行できますが、前回の通信時に振込振替依頼が成立していた場合、二重振込になる可能性があります。
必ず、《日常処理》[振込振替（結果照会）] メニューで正しく受け付けられているか確認してください。

資金移動

照会
振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

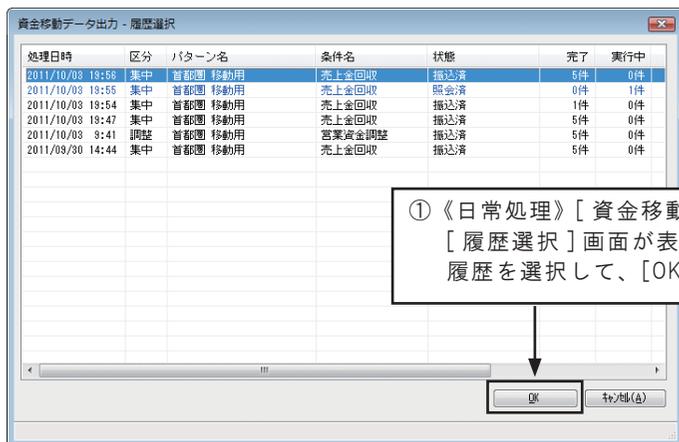
第3章

ファイル入出力

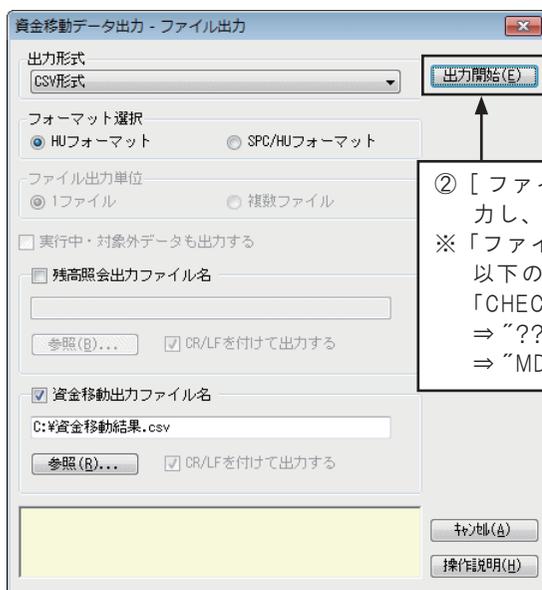
資金移動データ出力

資金移動データ出力の流れ

資金集中、資金配分、残高調整の資金移動結果を外部ファイルに出力します。



① 《日常処理》[資金移動データ出力]メニューを選択します。
[履歴選択]画面が表示されますので、ファイル出力を行う履歴を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



② [ファイル出力]画面が表示されますので、必要項目を入力し、[出力開始]ボタンをクリックします。
※「ファイル出力単位」で「複数ファイル」を選択した場合、以下のファイル名で出力されます。
「CHECK???.MDD」
⇒ “???”：選択したパターンのパターンコード
⇒ “MDD”：月日（※10月=A、11月=B、12月=C）



参考

資金移動の出力ファイルのフォーマットについては、メインメニュー上部の[ヘルプ]-[ファイル取込・出力フォーマット]をクリックすると表示される『ファイル取込・出力フォーマット』をご参照ください。

資金移動

照会
振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

第3章

ファイル入出力

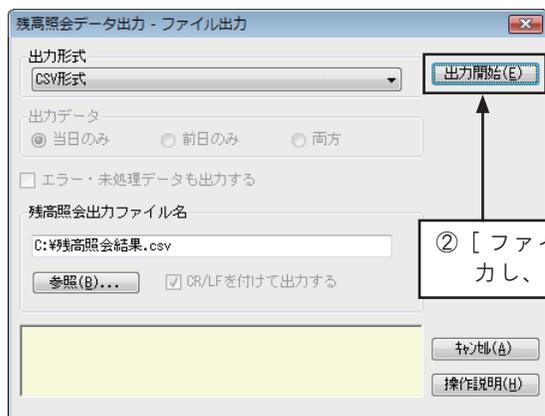
残高照会データ出力

残高照会データ出力の流れ

残高照会結果を外部ファイルに出力します。



- ① 《日常処理》[残高照会データ出力]メニューを選択します。
[履歴選択]画面が表示されますので、ファイル出力を行う履歴を選択して、[OK]ボタンをクリックします。
一覧に表示されている履歴をパターンで絞り込む場合は、「パターン名」で絞り込むパターンを選択します。



- ② [ファイル出力]画面が表示されますので、必要項目を入力し、[出力開始]ボタンをクリックします。



参考

残高照会の出力ファイルのフォーマットについては、メインメニュー上部の[ヘルプ]-[ファイル取込・出力フォーマット]をクリックすると表示される『ファイル取込・出力フォーマット』をご参照ください。

資金移動

振込振替

照会
ファイル入出力バックアップ
と復元

その他

第3章 ファイル入出力

振込入金照会 / 入出金明細照会データ出力

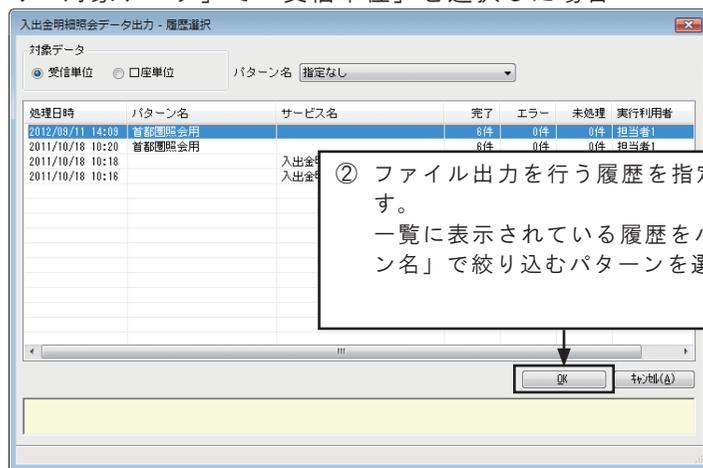
振込入金照会 / 入出金明細照会データ出力の流れ

振込入金、入出金明細の照会結果を外部ファイルに出力します。

◆ 共通

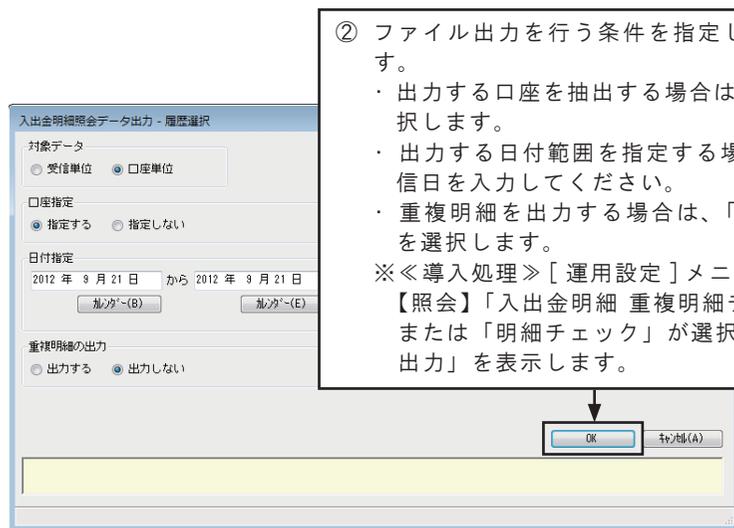
- ① 《日常処理》[振込入金照会 / 入出金明細照会データ出力]メニューを選択すると、[履歴選択]画面が表示されます。

◆ 「対象データ」で「受信単位」を選択した場合



- ② ファイル出力を行う履歴を指定して、[OK] ボタンをクリックします。
一覧に表示されている履歴をパターンで絞り込む場合は、「パターン名」で絞り込むパターンを選択します。
- ▶ ④へ進みます。

◆ 「対象データ」で「口座単位」を選択した場合



- ② ファイル出力を行う条件を指定して、[OK] ボタンをクリックします。
 - 出力する口座を抽出する場合は「口座指定」で「指定する」を選択します。
 - 出力する日付範囲を指定する場合は、「日付指定」で出力する通信日を入力してください。
 - 重複明細を出力する場合は、「重複明細の出力」で「出力する」を選択します。※《導入処理》[運用設定]メニューのタブ<照会 / 振込振替>【照会】「入出金明細 重複明細チェック」で「通番チェック」または「明細チェック」が選択されている場合に、「重複明細の出力」を表示します。

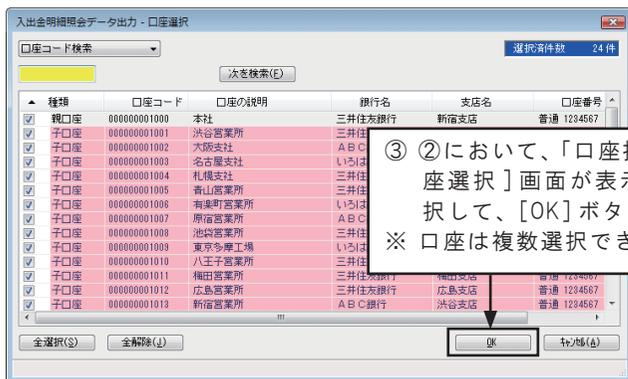
資金移動

照会 / 振込振替

ファイル入出力

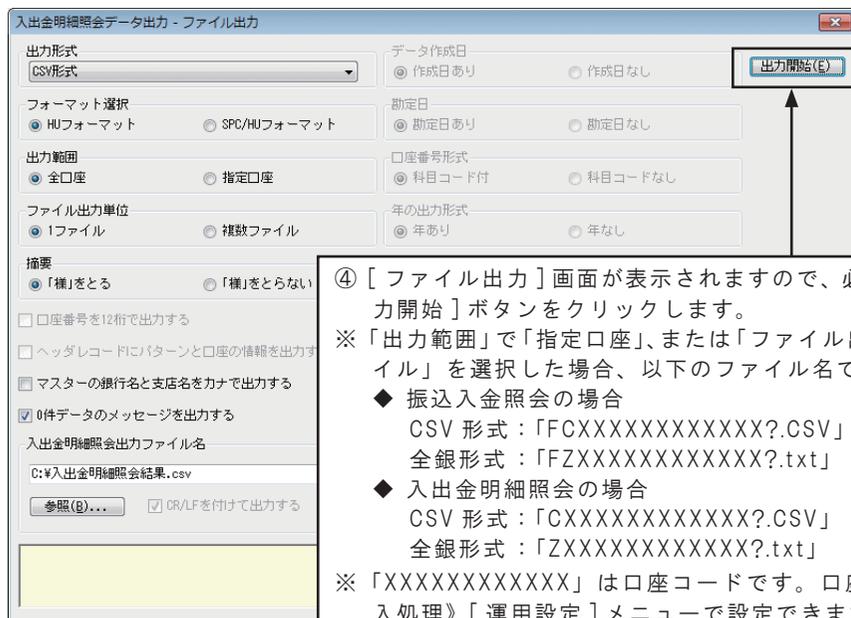
バックアップと復元

その他



③ ②において、「口座指定」で「指定する」を選択した場合、「口座選択」画面が表示されます。ファイル出力を行う口座を選択して、「OK」ボタンをクリックします。
※ 口座は複数選択できます。

◆ 共通



④ [ファイル出力]画面が表示されますので、必要項目を入力し、「出力開始」ボタンをクリックします。
※ 「出力範囲」で「指定口座」、または「ファイル出力単位」で「複数ファイル」を選択した場合、以下のファイル名で出力されます。
◆ 振込入金照会の場合
CSV形式：「FCXXXXXXXXXXXXX?.CSV」
全銀形式：「FZXXXXXXXXXXXXX?.txt」
◆ 入出金明細照会の場合
CSV形式：「CXXXXXXXXXXXXX?.CSV」
全銀形式：「ZXXXXXXXXXXXXX?.txt」
※ 「XXXXXXXXXXXXX」は口座コードです。口座コードの桁数は《導入処理》[運用設定]メニューで設定できます。
※ 「?」は、親口座の場合は「O」（英大文字）、子口座の場合は「K」になります。



参考

振込入金照会 / 入出金明細照会の出力ファイルのフォーマットについては、メインメニュー上部の「ヘルプ」-「ファイル取込・出力フォーマット」をクリックすると表示される『ファイル取込・出力フォーマット』をご参照ください。

第3章

ファイル入出力
振込振替データ出力

振込振替データ出力の流れ

振込振替（複数依頼）の結果を外部ファイルに出力します。

処理日時	振込振替の説明	状態	完了	実行中	対象外	指定日	実行利用者
2017/03/09 16:28	自派可引付	振込済	0件	0件	0件	5月8日	管理者
2017/04/26 18:20	九州移動用	振込済	1件	0件	0件		管理者
2017/04/26 18:30	関東圏移動用	振込済	1件	0件	0件		管理者
2017/04/26 18:28	首都圏移動	振込済	2件	0件	0件	5月1日	管理者
2017/04/26 18:26	首都圏移動	振込済	1件	0件	0件		管理者
2017/04/26 18:25	首都圏移動	振込済	1件	0件	0件	5月1日	管理者

① 《日常処理》[振込振替データ出力]メニューを選択します。
[履歴選択]画面が表示されますので、ファイル出力を行う履歴を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

② [ファイル出力]画面が表示されますので、必要項目を入力し、[出力開始]ボタンをクリックします。



参考

振込振替の出力ファイルのフォーマットについては、メインメニュー上部の [ヘルプ]-[ファイル取込・出力フォーマット]をクリックすると表示される『ファイル取込・出力フォーマット』をご参照ください。

資金移動

振込振替
照会

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

第3章

ファイル入出力
資金移動データ取り込み

資金移動データ取り込みの流れ

資金移動を実行する際の金額情報を外部ファイルから取り込みます。取り込み後にそのまま資金移動を実行することもできます。



参考

あらかじめ対象メニュー（《日常処理》[資金集中]/[資金配分]/[残高調整]メニュー）で資金移動条件を登録しておく必要があります。

① 《日常処理》[資金移動データ取り込み]メニューを選択します。

② [資金移動データ取り込み]画面が表示されます。
「データ形式」が「CSV形式」または「タブ区切り形式」の場合は、[設定]ボタンをクリックします。
[取り込みデータ形式設定]画面が表示されますので、必要項目を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

③ 必要項目を入力し、[取込開始]ボタンをクリックします。



参考

- ◆ 「取り込み後の通信処理」で「通信を実行する」を選択した場合は、選択したメニューの通信画面が表示されます。「通信を実行しない」を選択した場合は、選択した資金移動条件に金額情報が上書きされます。
- ◆ 「金額情報を全件クリアして上書きする」にチェックを付けた場合は、選択した資金移動条件の金額情報は全件削除され、取り込むファイルの金額情報に上書きされます。チェックを外した場合は、選択した資金移動条件に金額情報が上書きされますが、取り込むファイルに存在しない口座の金額情報はそのままとなります。
- ◆ 取り込むファイルのフォーマットについては、メインメニュー上部の[ヘルプ]-[ファイル取込・出力フォーマット]をクリックすると表示される『ファイル取込・出力フォーマット』をご参照ください。

資金移動

照会
振込
振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

第3章

ファイル入出力

汎用出力形式登録

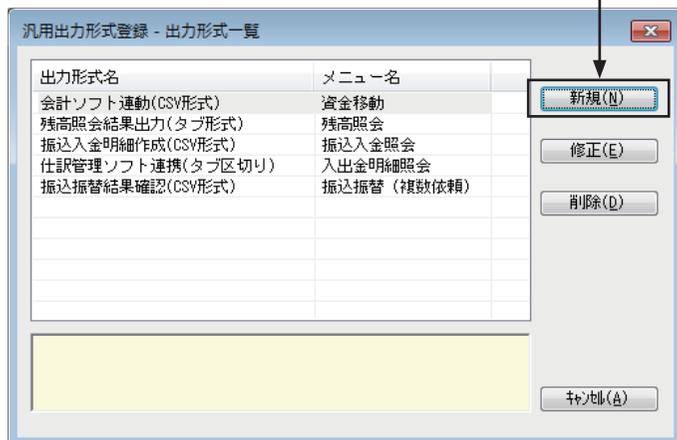
汎用出力形式登録の流れ

資金移動、残高照会、振込入金照会、入出金明細照会、振込振替（複数依頼）の結果データを外部ファイルに出力する際の汎用出力形式をお客さまにて設定できます。必要な項目を選択し、項目の並び順を指定できます。

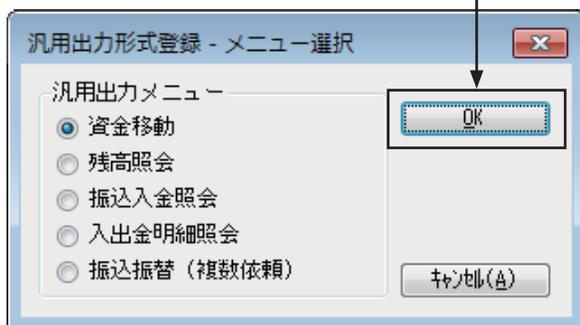
作成した汎用出力形式は、《日常処理》[資金移動データ出力]/[残高照会データ出力]/[振込入金照会データ出力]/[入出金明細照会データ出力]/[振込振替データ出力]メニューで選択します。

① 《日常処理》[汎用出力形式登録]メニューを選択します。

② [出力形式一覧]画面が表示されます。[新規]ボタンをクリックします。



③ [メニュー選択]画面が表示されます。出力形式を登録するメニューを選択して[OK]ボタンをクリックします。



資金移動

振込振替
照会

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

④ [出力形式登録]画面が表示されます。必要項目を入力し、[登録]ボタンをクリックします。

汎用出力形式登録 - 資金移動出力形式登録

出力形式名 * 外部システム受入用(CSV形式)

出力形式 CSV形式 タブ区切り形式

項目名 項目名を出力する

項目	属性	区分
処理実行日付(YYYYMMDD)	N(8)	
振込指定日(YYYYMMDD)	N(8)	
振込指定日(MMDD)	N(4)	
振込指定日(MM/DD)	C(5)	
[親口座]口座コード	N(12)	マスタ情報
[親口座]銀行名(カナ)	C(15)	マスタ情報
[親口座]支店名(カナ)	C(15)	マスタ情報
[親口座]番号方式区分	N(1)	マスタ情報
[親口座]預金種目	N(1)	マスタ情報
[親口座]口座番号	N(7)	マスタ情報
[親口座]加入者番号	N(12)	マスタ情報
[子口座]口座コード	N(12)	マスタ情報
[子口座]銀行名(カナ)	C(15)	マスタ情報
[子口座]支店名(カナ)	C(15)	マスタ情報
[子口座]番号方式区分	N(1)	マスタ情報
[子口座]預金種目	N(1)	マスタ情報
[子口座]口座番号	N(7)	マスタ情報
[子口座]加入者番号	N(12)	マスタ情報
振込手数料区分	N(1)	受信情報
振込手数料	N(5)	受信情報
空営業日扱い	N(1)	受信情報
振込メッセージ	C(20)	受信情報

全選択(A) 選択(S) 全削除(L) 削除(D)

項目	属性	区分
処理実行日付(YYYY/MM/DD)	C(10)	
振込指定日(YYYY/MM/DD)	C(10)	
[親口座]口座名	C(30)	マスタ情報
[親口座]銀行コード	N(4)	マスタ情報
[親口座]銀行名(漢字)	C(30)	マスタ情報
[親口座]支店コード	N(3)	マスタ情報
[親口座]支店名(漢字)	C(30)	マスタ情報
[親口座]種目コード	N(3)	マスタ情報
[子口座]口座名	C(30)	マスタ情報
[子口座]銀行コード	N(4)	マスタ情報
[子口座]銀行名(漢字)	C(30)	マスタ情報
[子口座]支店コード	N(3)	マスタ情報
[子口座]支店名(漢字)	C(30)	マスタ情報
[子口座]種目コード	N(3)	マスタ情報
受取人番号	N(12)	マスタ情報
入払区分	N(1)	
取引金額	N(11)	受信情報
受付番号	C(8)	受信情報
移動前基準残高	N(12)	計算項目
表面残高	N(12)	受信情報

登録(E)

キャンセル(N) 操作説明(H)

資金移動

振込振替

照会
ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他



参考

- ◆ この画面で入力した「出力形式名」が各出力メニューの[ファイル出力]画面で表示されます。
- ◆ [選択済項目]リストに表示されている項目が、その並び順で出力されます。出力する項目を選択して[選択]ボタンをクリックすると[選択済項目]リストに移動できます。
- ◆ 並び順は、[選択済項目]リストの右側にある矢印ボタンで変更できます。

第4章

バックアップと復元

バックアップと復元

バックアップとは？

バックアップとは、不慮の事故に備え、ハードディスク、USBメモリ、MOディスクにデータのコピーを作成することです。

当システムでは、《各種管理》[バックアップ作成]メニューで、バックアップデータを作成することができます。また、作成したバックアップデータは、《各種管理》[バックアップ復元]メニューで、バックアップデータを作成した時点の状態に復元することができます。

不慮の事故に備え、こまめにバックアップデータを作成されることをお勧めします。

※ データ領域を複数使い分けている場合は、データ領域ごとにバックアップを実行してください。

※ 銀行支店情報のバックアップを取得する場合は、別途「データ領域指定」で「個別選択」を選択のうえ、実行してください。

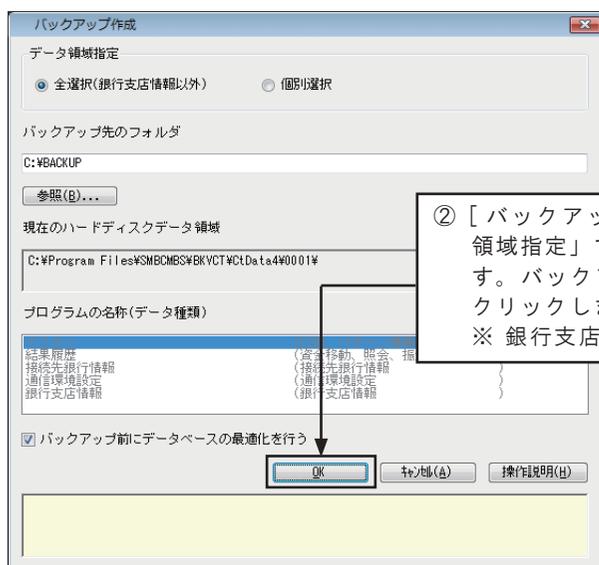
※ 《各種管理》[システム環境設定]メニューで、当システム終了時に自動でバックアップを作成するか設定できます。

※ 当システム終了時にバックアップ作成の確認画面が表示されます。当システム終了時に作成されるバックアップは、現在選択されているデータ領域のバックアップです。

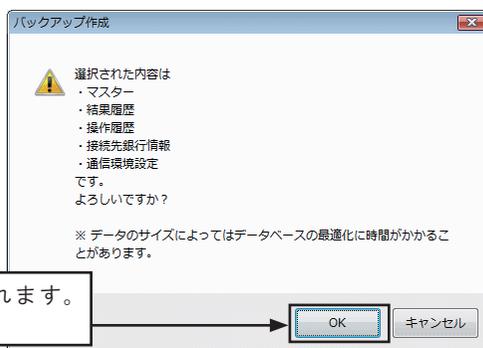
バックアップ作成

当システムのバックアップデータを作成します。

- ① 《各種管理》[バックアップ作成]メニューを選択します。



- ② [バックアップ作成]画面が表示されますので、「データ領域指定」で「全選択（銀行支店情報以外）」を選択します。バックアップ先のフォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。
※ 銀行支店情報のバックアップは作成されません。



- ③ バックアップ作成内容の確認メッセージが表示されます。内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。

資金移動

照会
振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

バックアップ復元

《各種管理》[バックアップ作成]メニューで作成したバックアップデータを当システムに読み込みます。

- ① 《各種管理》[バックアップ復元]メニューを選択します。

バックアップ復元

バックアップが存在するフォルダ
C:\BACKUP*

参照(B)...

現在のハードディスクデータ領域
C:\Program Files\SMBCMBS\BKVCT\CtData4#0001#

バックアップディスクの内容	日付	時刻
全体データ	2011/10/21	18:21

OK 参照(B) 操作説明(H)

- ② [バックアップ復元]画面が表示されます。
バックアップデータが存在するフォルダを指定します。

- ③ 指定したバックアップデータの内容が表示されます。

- ④ 指定したバックアップデータの内容が正しければ、
[OK] ボタンをクリックします。

バックアップ復元

警告 選択された内容は

全体データ
日付：2011年10月21日
時刻：18時21分
です。

新規にデータ領域を作成します。
よろしいですか？

OK キャンセル

バックアップ復元

警告 バックアップの復元を行います。

読込先 :C:\Program Files\SMBCMBS\BKVCT\CtData4#0002#
読込元 :C:\BACKUP

データ名 :全体データ
バックアップ日付 :2011/10/21

OK キャンセル

- ⑤ バックアップ復元内容の確認メッセージが表示
されます。
内容を確認して [OK] ボタンをクリックします。



参考

「全選択（銀行支店情報以外）」のバックアップデータを復元する場合、「接続先銀行情報」および「通信環境設定」の上書きをするかとの確認メッセージが表示されます。
上書きをする場合は、[はい]ボタン、上書きをしない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

バックアップ復元

警告 接続先銀行情報を上書きしますか？

***** 注意 *****
[はい]を選択した場合は、現在登録されている接続先銀行情報をすべて
削除し上書きします。
接続先銀行情報は、すべてのデータ領域で共通の情報となりますので、
十分ご注意ください。

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

バックアップ復元

警告 通信環境設定を上書きしますか？

***** 注意 *****
[はい]を選択した場合は、現在登録されている通信環境設定をすべて
削除し上書きします。
通信環境設定は、すべてのデータ領域で共通の情報となりますので、
十分ご注意ください。

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

バックアップ復元

 バックアップの復元が完了しました。
読み込んだデータで処理を行いますか？

「はい」…バックアップ復元メニューが終了し、読み込んだデータで処理が行えます。
「いいえ」…バックアップ復元メニューに戻ります。

⑥ 復元が完了すると、バックアップ復元完了メッセージが表示されます。
読み込んだデータで処理を行う場合は、[はい]ボタンをクリックします。



参考

[いいえ]ボタンをクリックし、読み込んだデータで処理を行う場合は、《各種管理》[データ領域選択]メニューで、読み込んだデータ領域を選択して処理を行ってください。



参考

利用者情報のバックアップを作成・復元する場合は？

【バックアップ作成】

- ① 《各種管理》[利用者登録]メニューを選択します。
- ② [バックアップ](F5)キーを押します。
- ③ [バックアップ作成]画面が表示されます。バックアップ先のフォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。
- ④ バックアップ作成内容の確認メッセージが表示されます。内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。

【バックアップ復元】

- ① 《各種管理》[利用者登録]メニューを選択します。
- ② [復元](F6)キーを押します。
- ③ [バックアップ復元]画面が表示されます。バックアップデータが存在するフォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。
- ④ バックアップ復元内容の確認メッセージが表示されます。内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。
- ⑤ 復元が完了すると、復元完了のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



注意

一度当システムが終了しますので、次回ログイン時からは取り込まれた新しい利用者でログインしてください。

第5章

その他

銀行支店情報のダウンロード

資金移動

銀行支店情報のダウンロードとは？

当システムがインストールされているコンピュータから、銀行支店情報ダウンロードサーバーにインターネットでアクセスし、最新の銀行支店情報をダウンロードします。銀行支店情報は、原則として毎月17日（土日祝祭日の場合は翌営業日）の翌日に、第二月曜日（祝祭日の場合は翌営業日）時点の情報に更新されます。

ダウンロードした最新の銀行支店情報は、当システムの銀行支店情報（《各種管理》[銀行支店情報登録]メニュー）に反映されます。



参考

銀行の統廃合等により、銀行情報/支店情報に変更があった場合に、最新の銀行支店情報をダウンロードすることができます。これにより銀行情報を都度お調べいただく必要がなくなります。

振込振替
照会

ファイル入出力

● 注意

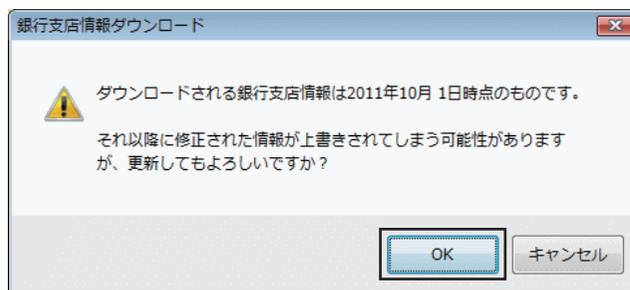
- ◆ インターネットをご利用できる環境（ダイヤルアップ接続を除く）が整っていない場合、銀行支店情報のダウンロード機能はご利用いただけません。
- ◆ お客さまにて銀行支店情報を直接修正された場合、修正した内容に上書きされます。
- ◆ お客さまのインターネット接続環境によってはエラーが発生し、ダウンロードすることができない場合があります。エラーが発生した場合は、当システムのお問い合わせ窓口までご連絡ください。

バックアップ
と復元

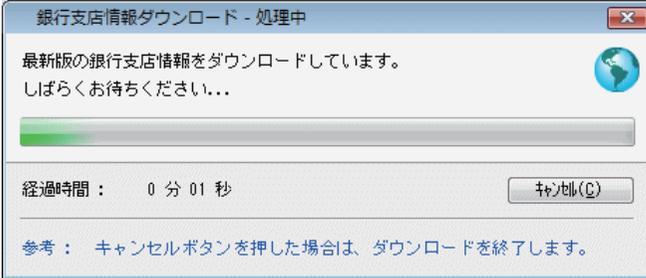
その他

ダウンロード処理の流れ

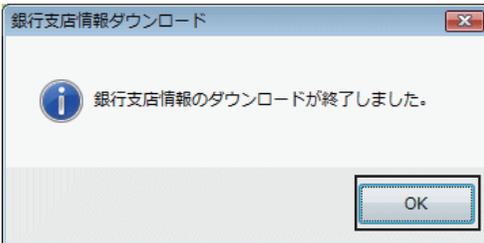
- ① 《各種管理》[銀行支店情報ダウンロード]メニューを選択します。銀行支店情報の更新日付を表す画面が表示されます。内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。



② ダウンロードの進捗状況を表す画面が表示されます。



③ 以下のメッセージが表示されるとダウンロードは完了です。



参考

ダウンロードを実行した場合、《各種管理》[銀行支店情報登録]メニューの銀行支店情報が更新され、各メニューの銀行名/支店名も更新されます。
《導入処理》[親口座登録]/[子口座登録]/[通知預金口座登録]メニューで登録されている口座情報の銀行コード/支店コードに変更がある場合は、手動で修正してください。

▶ 「導入編 -32 口座登録」参照

第5章

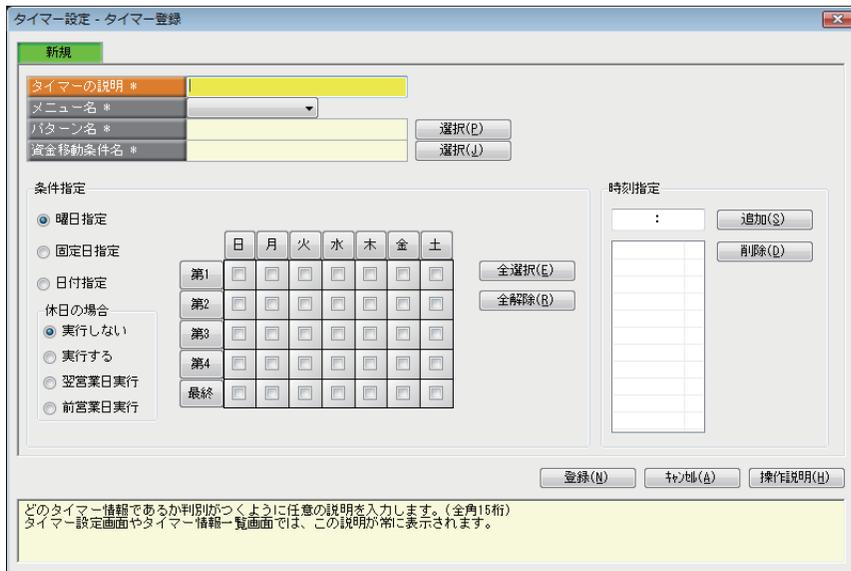
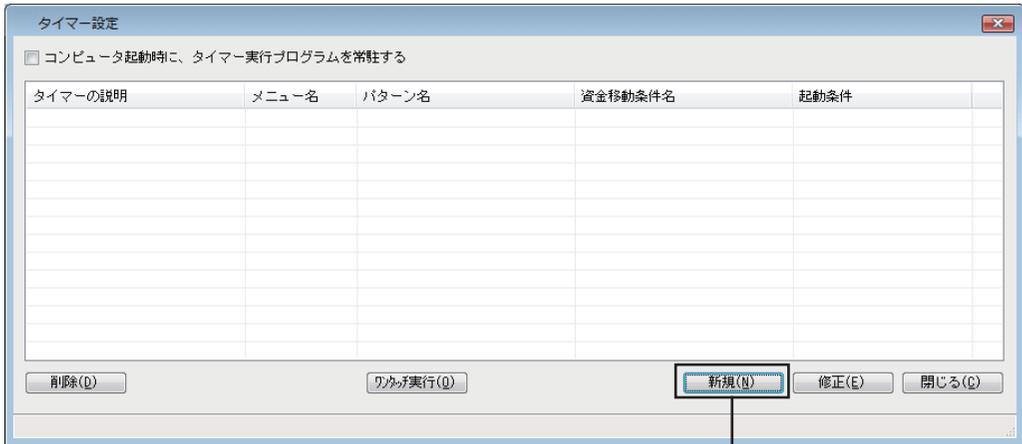
その他

タイマー設定

タイマー設定の登録

あらかじめ資金集中、資金配分、残高調整、残高照会、振込入金照会、入出金明細照会を実行する日時を設定しておくことで、自動的に資金移動や照会を行うことができます。

タイマー設定を登録する場合は、[タイマー設定]画面で[新規]ボタンをクリックします。画面上の項目説明または、当システムの操作説明を参照し、各設定を行ってください。設定後は、[登録]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックして、登録します。



資金移動

照会
振込振替

ファイル入出力

バックアップ
と復元

その他

タイマーの実行

タイマーを実行する場合は、[タイマー設定]画面で、「コンピュータ起動時に、タイマー実行プログラムを常駐する」にチェックを付け、[閉じる]ボタンをクリックします。次回コンピュータ起動時にタイマー実行プログラムが起動します。

※ 直ちにタイマーを実行する場合は、[タイマー実行]プログラムを実行します。

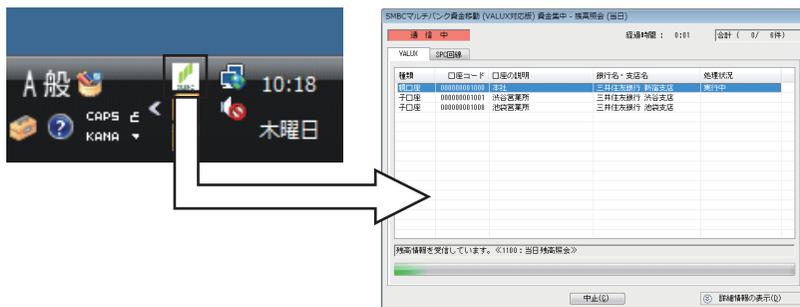
タイマーの説明	メニュー名	パターン名	資金移動条件名	起動条件
首都圏_営業資金集中	資金集中	首都圏_移動用	首都圏_売上金回収	曜日指定
関西地区_営業資金調整	残高調整	関西地区_移動用	関西_営業資金調整	日付指定
九州地区_営業資金配分	資金配分	九州地区_移動用	九州地区_営業資金配分	固定日指定
全国_残高照会	残高照会	全国_移動用		曜日指定

参考

[タイマー設定]画面からタイマーを即時実行する場合は、実行するタイマーをリストより選択し、[ワンタッチ実行]ボタンをクリックすると、通信が実行されます。

参考

- ◆ タイマー実行のアイコンは、以下のようにタスクトレイに表示されます。タスクトレイに常駐しているアイコンをダブルクリックすると、[タイマー情報一覧]画面が表示されます。
- ◆ 指定した日時になると、タスクトレイに常駐しているタイマー実行プログラムが起動し、タイマーが実行されます。



- ◆ 当システムが起動中の場合、タイマーは実行されません。
- ◆ 通信を行うコンピュータが起動し、Windowsにログオンしている必要があります。コンピュータがスリープ、休止状態の場合、タイマーは実行されません。

注意

タイマー機能を利用する場合は、必ず実行結果について確認してください。

※ お客さまのご利用環境の問題で通信が正常に実行されなかった場合、該当時刻の取引は成立しません。

【当システムのお問い合わせ窓口】

三井住友銀行のEB サービスセンター

フリーダイヤル：0120-286-201

営業時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00
(銀行休業日を除きます)

